

2020年度通期決算説明資料

2021年5月20日

SOMPOホールディングス株式会社



業績ハイライト	2	3. 海外保険事業	
1. 連結業績		業績概況（海外保険事業）	29
2020年度決算概況（連結）	4	（参考）地域別業績	30
決算のポイント① 保険引受利益（損保ジャパン）	5	（参考）SI※1業績概況①	31
決算のポイント② 資産運用粗利益（損保ジャパン）	6	（参考）SI業績概況②	32
決算のポイント③ 連結経常利益	7	4. 国内生保事業	
決算のポイント④ 連結純利益	8	業績概況（ひまわり生命）	34
2021年度通期業績予想（連結）	9	当期純利益（ひまわり生命）	35
2021年度通期業績予想のポイント	10	修正利益・修正純資産（ひまわり生命）	36
（参考）新型コロナウイルス感染拡大の影響	11	（参考）MCEV	37
（参考）通期業績予想（連結経常利益）のブレイクダウン	12	5. 介護・ヘルスケア事業等	
（参考）過去の業績進捗状況	13	業績概況（介護・ヘルスケア事業等）	39
（参考）経営数値目標等	14	SOMPOケアの主要指標	40
2. 国内損保事業		6. ERM・資産運用	
2020年度決算概況（損保ジャパン）	16	財務健全性：ESR（99.5%VaR）	42
正味収入保険料	17	（参考）実質自己資本・リスク量のブレイクダウン	43
正味損害率（アード・インカード）	18	資産ポートフォリオ（グループ連結ベース）	44
（参考）正味損害率（リトン・ペイド）	19	資産ポートフォリオ（損保ジャパン）	45
正味事業費率	20	資産ポートフォリオ（SI）	46
コンバインド・レシオ	21	資産ポートフォリオ（ひまわり生命）	47
資産運用損益	22		
（参考）資産運用粗利益の内訳	23		
（参考）2021年度通期業績予想（損保ジャパン）	24		
（参考）自動車保険関連の指標	25		
（参考）国内自然災害	26		
（参考）責任準備金・支払備金	27		

為替レート（米ドル/円）		
2020年度	110.71円（対前年：+1.7%）	2021年3月末
	- 海外※2 103.50円（対前年：△5.5%）	2020年12月末
2021年度 通期業績予想	110.71円	2021年3月末

※1 SIはSompoインターナショナルの企業部門を指す（以下同様）
 ※2 海外保険事業

- 2020年度トップラインはSIにて大幅増収が寄与し、正味収入保険料は+980億円増の29,235億円
- 2020年度新型コロナ影響は自動車事故の減少により、トータルでプラスに寄与。連結純利益は+199億円増の1,424億円、修正連結利益は対前年+513億円増の2,021億円（過去最高益）
- 2021年度は損害率の平常化により連結純利益は△174億円減益の1,250億円を見込むも、修正連結利益は+28億円増益の2,050億円を見込む

2020年度 実績

損保ジャパン

- 新型コロナによる外出自粛を背景とした自動車保険のE/I損害率低下を主因に、保険引受利益は+232億円の増益
※自動車保険のE/I損害率は対前年△4.9pt改善、事故受付件数も同△13.7%減少
- 新型コロナ影響による利配減等により、資産運用粗利益は△45億円減益

海外保険事業

- SIにおけるレートアップを中心とする増収に伴い、引き続きトップラインは順調に拡大
- 上半期は新型コロナの影響を受けるも、下半期以降は通期予想対比で堅調に推移し、修正利益は300億円

ひまわり生命

- 貯蓄性商品の保有減少等により、当期純利益は+34億円増益の200億円

介護・ヘルスケア

- 現場職員への特別手当支給など新型コロナの影響を受け、当期純利益は減益も新型コロナ影響除きでは増益

2021年度 予想

- 損保ジャパンは新型コロナ影響を主因とする損害率低下の剥落等により、21年度の純利益は△139億円減益を見込む
- 海外保険事業は新型コロナ等の一過性要因の剥落と規律あるアンダーライティング継続により、修正利益で+299億円の増益を見込む
- 新型コロナが連結純利益に与える影響は△60億円、修正連結利益に与える影響は+90億円を見込む

株主還元

- 8期連続増配（含21年度配当予想）および404億円の自己株式取得を決定（20年度の総還元性向50%）

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

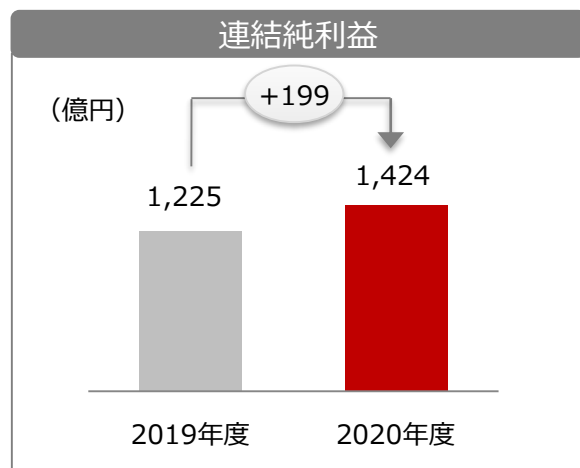
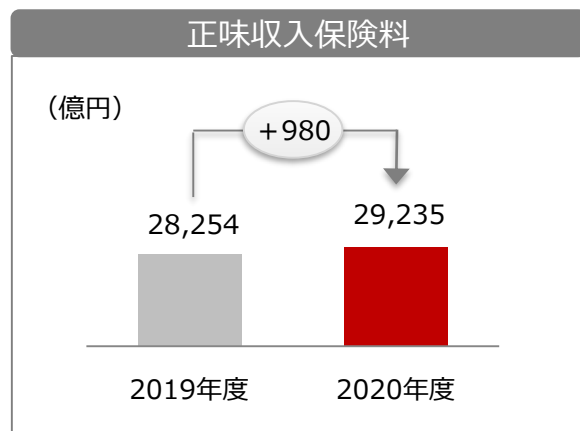
4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

2020年度決算概況（連結）

- SIの増収が寄与し、正味収入保険料は+980億円の増収
- 損保ジャパンの自動車保険損害率低下を主因に、連結経常利益・連結純利益ともに増益



(単位：億円)	2019年度	2020年度	増減
連結経常収益	37,603	38,463	+859 (+2.3%)
正味収入保険料	28,254	29,235	+980 (+3.5%)
生命保険料	3,560	3,461	△98 (△2.8%)
連結経常利益	1,924	2,150	+226
損保ジャパン	1,823	1,974	+150
海外グループ会社	879	522	△356
ひまわり生命	255	289	+33
SOMPOケア	101	87	△13
その他・連結調整等※1	△1,135	△723	+412
連結純利益※2	1,225	1,424	+199
損保ジャパン	1,305	1,469	+164
海外グループ会社	753	358	△395
ひまわり生命	165	200	+34
SOMPOケア	62	53	△9
その他・連結調整等	△1,062	△656	+406
(参考) 修正連結利益	1,508	2,021	+513
国内損保事業	608	1,301	+693
海外保険事業	501	300	△200
国内生保事業	320	338	+17
介護・ヘルスケア事業等	77	81	+3

※1 SOMPOホールディングス設立時に企業結合の会計処理として「パーチェス法」を適用したことによる売却損益等の修正を含む

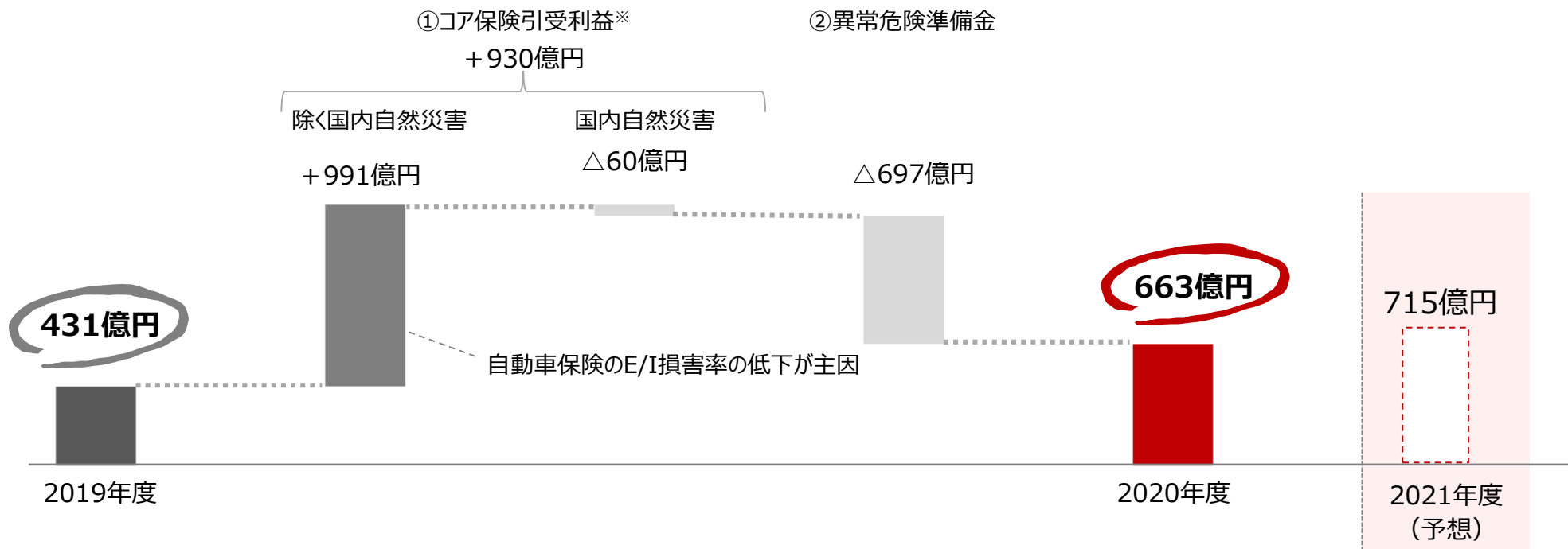
※2 連結純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す（以下同様）

決算のポイント① 保険引受利益（損保ジャパン）



- 自動車保険の損害率低下を主因に、保険引受利益は+232億円の増益

保険引受利益（損保ジャパン）の増減要因



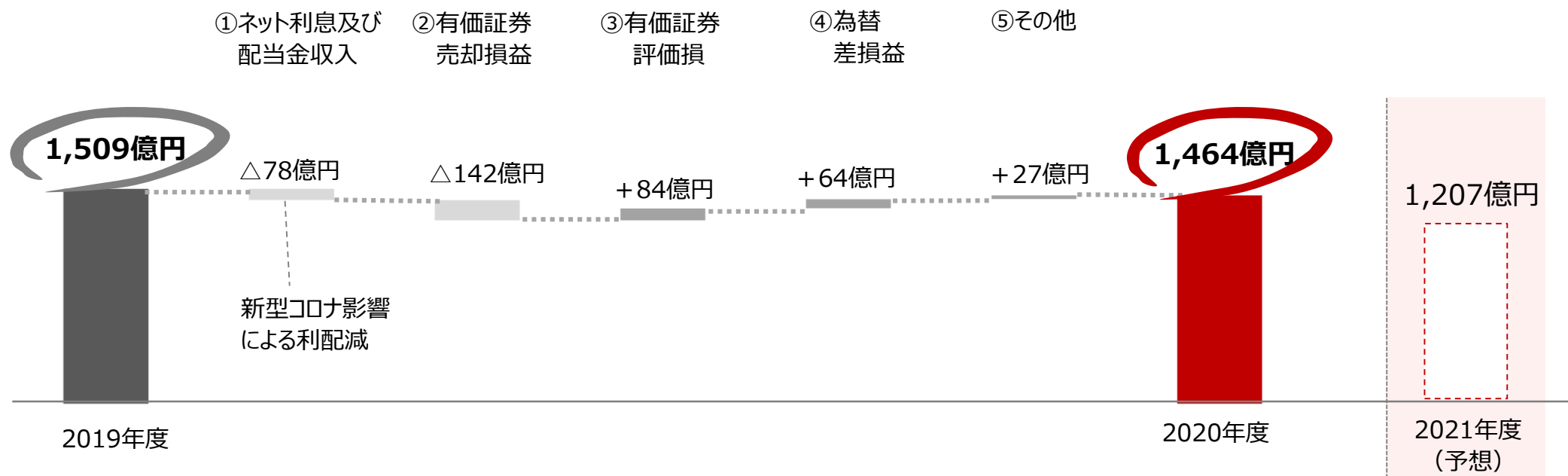
	①コア保険引受利益※			②異常危険準備金	保険引受利益
		(除く国内自然災害)	(国内自然災害)		
2019年度	94億円	1,026億円	△932億円	336億円	431億円
2020年度	1,024億円	2,017億円	△993億円	△361億円	663億円

※ コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

決算のポイント② 資産運用粗利益（損保ジャパン）

- 新型コロナ影響による利配減を除くと、資産運用粗利益は1,464億円と堅調

資産運用粗利益（損保ジャパン）の増減要因

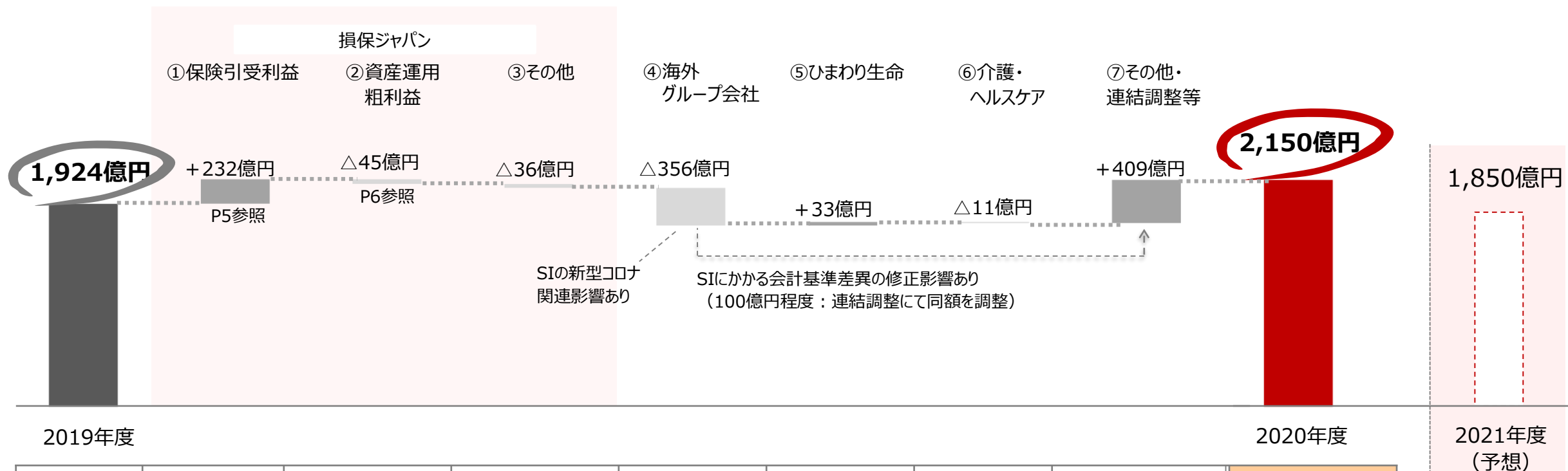


	① ネット利息及び配当金収入	② 有価証券売却損益	③ 有価証券評価損	④ 為替差損益	⑤ その他	資産運用粗利益
2019年度	1,020億円	791億円	△117億円	△18億円	△166億円	1,509億円
2020年度	941億円	648億円	△32億円	45億円	△138億円	1,464億円

決算のポイント③ 連結経常利益

- SIにおける新型コロナ関連影響を、損保ジャパンの損害率の低下等でカバーし、連結経常利益は+226億円増益

連結経常利益の増減要因



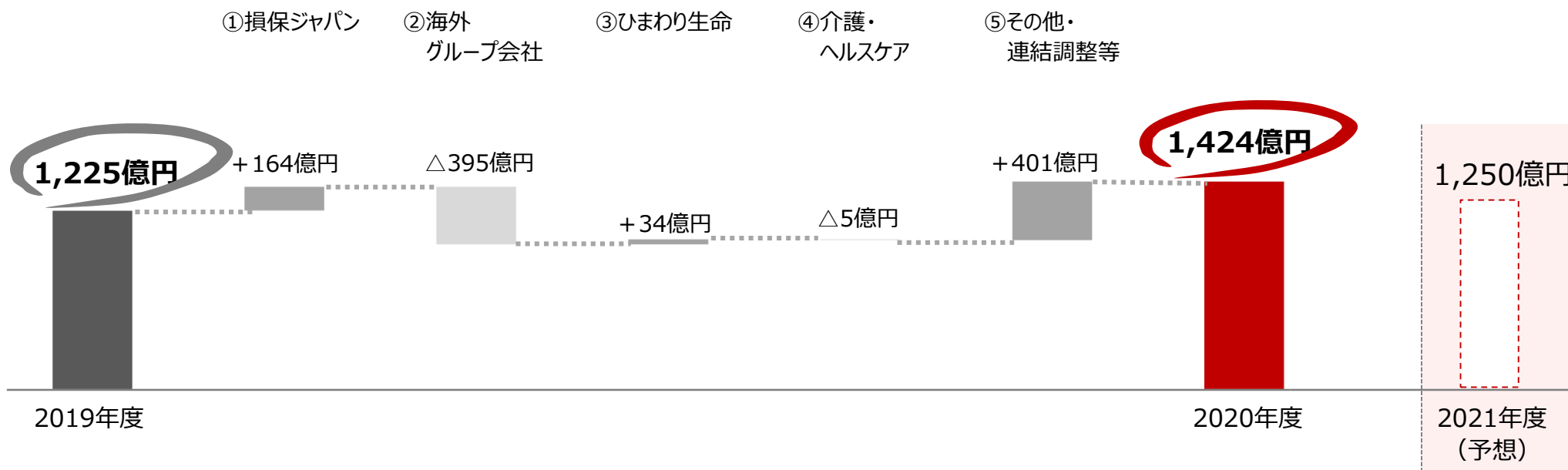
	①保険引受利益	②資産運用粗利益	③その他	④海外グループ会社	⑤ひまわり生命	⑥介護・ヘルスケア	⑦その他・連結調整等	連結経常利益
2019年度	431億円	1,509億円	△116億円	879億円	255億円	101億円	△1,135億円	1,924億円
2020年度	663億円	1,464億円	△153億円	522億円	289億円	90億円	△725億円*	2,150億円

※ 2020年度のSIに係るのれん・無形固定資産等償却額（税前）は227億円

決算のポイント④ 連結純利益

- 連結純利益は1,424億円

連結純利益の増減要因



	①損保ジャパン	②海外グループ会社	③ひまわり生命	④介護・ヘルスケア	⑤その他・連結調整等	連結純利益
2019年度	1,305億円	753億円	165億円	61億円	△1,061億円	1,225億円
2020年度	1,469億円	358億円	200億円	56億円	△660億円	1,424億円

2021年度通期業績予想（連結）

(単位：億円)	2020年度 (実績)	2021年度 (予想)	対前年増減
正味収入保険料	29,235	30,900	+1,664
生命保険料	3,461	3,580	+118
連結経常利益	2,150	1,850	△300
損保ジャパン	1,974	1,745	△229
海外グループ会社	522	723	+200
ひまわり生命	289	172	△116
SOMPOケア	87	86	△1
その他・連結調整等	△723	△877	△154
連結純利益	1,424	1,250	△174
損保ジャパン	1,469	1,330	△139
海外グループ会社	358	579	+221
ひまわり生命	200	116	△84
SOMPOケア	53	51	△1
その他・連結調整等	△656	△826	△169
(参考) 修正連結利益	2,021	2,050	+28
国内損保事業	1,301	1,050	△251
海外保険事業	300	600	+299
国内生保事業	338	325	△13
介護・シニア事業等	81	75	△6

2021年度通期業績予想のポイント

- 新型コロナ影響の一定の剥落と自然災害の平常化を織り込み、連結純利益で△174億円減益の1,250億円を見込む
- 株主還元の原資となる修正連結利益は、2年連続過去最高益となる2,050億円を見込む

損保ジャパン

- 新型コロナ影響による損害率低下は一定の剥落を想定する一方で、自然災害は平常化を見込み、保険引受利益は+51億円の増益見込
- 前年度のファンド解約益の剥落等を主因に、資産運用粗利益は△256億円の減益の見込
- 政策株式は500億円程度の削減を見込む

海外保険事業

- SIではレートアップや保有比率の引き上げ等により、既経過保険料は+1,673億円増収を見込む
- 新型コロナ等の一過性要因の剥落に加え、規律あるアンダーライティングにより、SIの損害率は△6.7pt改善を見込む
- 海外事業全体の修正利益は+299億円の増益を見込む

ひまわり生命

- 収益性の高い保障性商品の保有拡大を継続する一方、成長投資に伴う事業費増を見込む
- 新契約拡大に伴う事業費および責任準備金繰入増等により、当期純利益は△84億円の減益を見込む

介護・シニア

- 一過性の税効果剥落により減益を見込むも、1.4ptの入居率改善（89.4%→90.8%）を見込む

(参考) 新型コロナウイルス感染拡大の影響

- 2020年度は連結純利益で+20億円程度、修正連結利益で+230億円程度の影響
- 2021年度も一定の影響を折り込み、連結純利益で△60億円程度、修正連結利益では+90億円程度の影響を見込む

連結純利益への影響※

	2020年度	2021年度 (予想)	2020年度主因
国内損保	+180億円	△20億円	自動車保険事故率低下、 ファンド利配減少など
海外保険	△140億円	-	備金計上、ファンド利配減少など
国内生保	軽微	△10億円	新契約減影響を責準負担減や 手数料負担減などで相殺
介護・ヘルスケア	△20億円	△30億円	現場職員への特別手当等
グループ計	+20億円	△60億円	

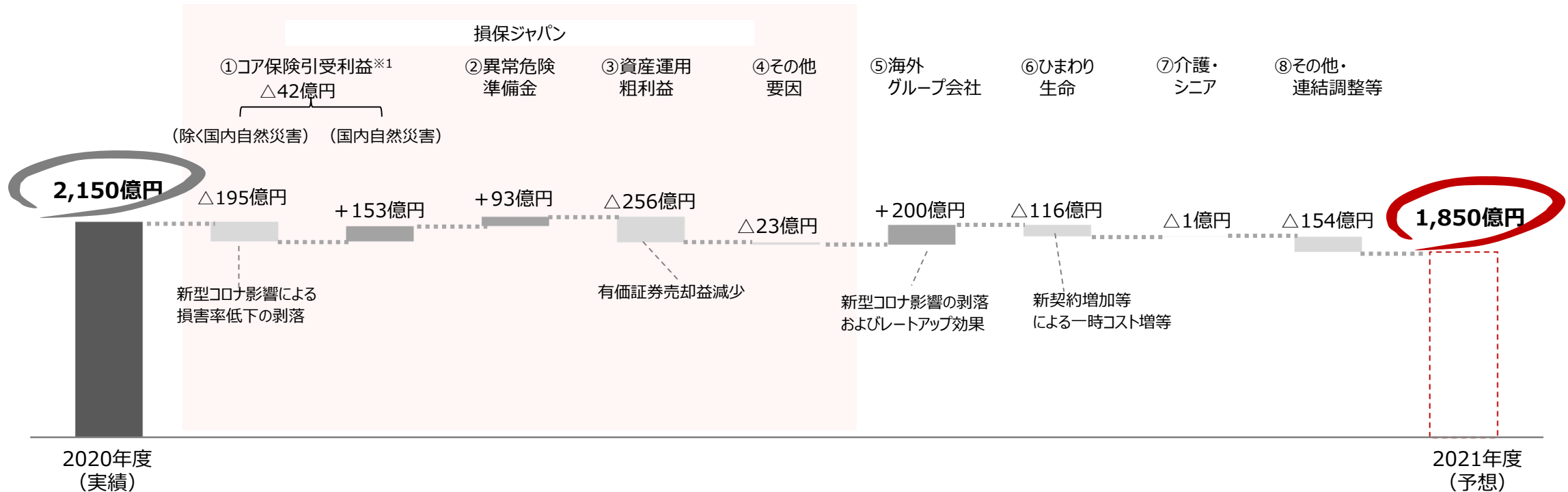
(参考) 修正連結利益への影響※

	2020年度	2021年度 (予想)
国内損保	+410億円	+130億円
海外保険	△140億円	-
国内生保	△20億円	△10億円
介護・ヘルスケア	△20億円	△30億円
グループ計	+230億円	+90億円

※ 概算数値

(参考) 通期業績予想 (連結経常利益) のブレイクダウン

連結経常利益の主要構成要素



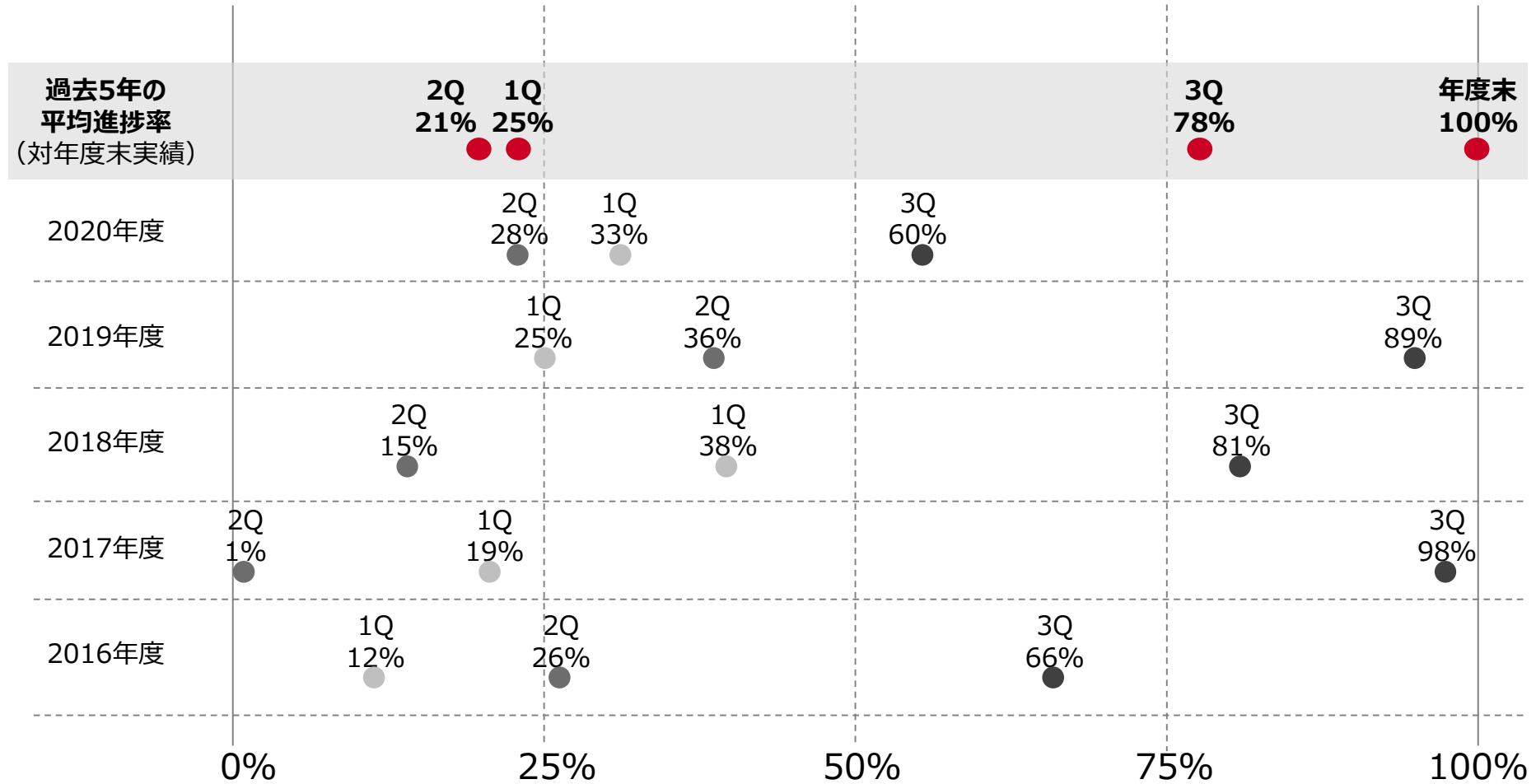
	①コア保険引受利益		②異常危険準備金	③資産運用粗利益	④その他要因	⑤海外グループ会社	⑥ひまわり生命	⑦介護・シニア	⑧その他・連結調整等	連結経常利益
	(除く国内自然災害)	(国内自然災害)								
2020年度実績	2,017億円	△993億円	△361億円	1,464億円	△153億円	522億円	289億円	87億円	△723億円	2,150億円
2021年度予想	1,822億円	△840億円	△267億円	1,207億円	△177億円	723億円	172億円	86億円	△877億円^{※2}	1,850億円

※1 コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

※2 SI買収に伴うのれんは1,513百万ドル、無形固定資産を合わせた正味償却対象額は2,000百万ドル程度(買収時点)、のれんは10年、無形固定資産は適切な償却期間を設定、2021年度予想における正味償却対象額は255億円の見込み

(参考) 過去の業績進捗状況

四半期の進捗率 (連結純利益)



(参考) 経営数値目標等

経営数値目標等

(単位：億円)	2019年度	2020年度		2021年度	
	(実績)	(実績)	対前年 増減	(予想)	対前年 増減
国内損保事業	608	1,301	+693	1,050	△251
海外保険事業	501	300	△200	600	+299
国内生保事業	320	338	+17	325	△13
介護・シニア事業等※2	77	81	+3	75	△6
修正連結利益合計	1,508	2,021	+513	2,050	+28
修正連結ROE※3	6.4%	8.0%	+1.7pt	7.4%	△0.6pt
ROE (J-GAAPベース)	7.3%	7.9%	+0.6pt	6.2%	△1.7pt

修正連結利益※1の定義

国内損保事業

当期純利益
 + 異常危険準備金繰入額等 (税引後)
 + 価格変動準備金繰入額 (税引後)
 - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

海外保険事業

Operating Income※4
 なお、持分法適用関連会社は原則当期純利益

国内生保事業

当期純利益
 + 危険準備金繰入額 (税引後)
 + 価格変動準備金繰入額 (税引後)
 + 責任準備金補正 (税引後)
 + 新契約費繰延 (税引後)
 - 新契約費償却 (税引後)
 - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

介護・シニア事業

ヘルスケア事業等

当期純利益

デジタル事業

当期純利益
 - 投資に関する売却損益・評価損 (税引後)

※1 2021年度定義を記載。事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く

※2 2019年度・2020年度実績値は介護・ヘルスケア事業等 2021年度予想は介護シニア事業 (SOMPOケア社) 等

※3 修正連結ROE = 修正連結利益 ÷ 修正連結純資産 (分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産 = 連結純資産 (除く国内生保事業純資産) + 国内損保事業異常危険準備金等 (税引後) + 国内損保事業価格変動準備金 (税引後) + 国内生保事業修正純資産

国内生保事業修正純資産 = 国内生保事業純資産 (J-GAAP) + 危険準備金 (税引後) + 価格変動準備金 (税引後) + 責任準備金補正 (税引後) + 未償却新契約費 (税引後)

※4 SIのOperating Income = 当期純利益 - 為替損益 - 有価証券売却・評価損益 - 減損損失など

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

2020年度決算概況（損保ジャパン）

- 既経過保険料は+118億円増加
- 正味損害率改善により、当期純利益は+164億円増益

(単位：億円)	2019年度	2020年度	増減	2021年度 (予想)
正味収入保険料	21,847	21,414	△433 (△2.0%)	21,600
（除く自賠責・家計地震）	19,038	19,034	△3 (△0.0%)	19,293
既経過保険料（除く自賠責・家計地震）	18,739	18,857	+118 (+0.6%)	19,262
E/I損害率（除く自賠責・家計地震）	63.3%	59.9%	△3.5pt	59.8%
正味損害率	64.9%	60.8%	△4.0pt	64.6%
（除く自賠責・家計地震）	63.5%	58.4%	△5.1pt	61.0%
正味事業費率	32.4%	33.6%	+1.3pt	34.3%
（除く自賠責・家計地震）	33.8%	34.5%	+0.6pt	35.0%
コンバインド・レシオ(W/P)（除く自賠責・家計地震）	97.3%	92.9%	△4.4pt	96.0%
(参考) コンバインド・レシオ (E/I) ※1（除く自賠責・家計地震）	97.2%	94.3%	△2.8pt	94.8%
保険引受利益	431	663	+232	715
資産運用粗利益	1,509	1,464	△45	1,207
経常利益	1,823	1,974	+150	1,745
当期純利益	1,305	1,469	+164	1,330
(参考)				
異常危険準備金繰入額等（税引後）	△239	+262	+502	+195
価格変動準備金繰入額（税引後）	+28	+28	+0	+29
有価証券売却損益・評価損（税引後）	△469	△435	+33	△200
特殊要因（税引後）※2	+15	△44	△60	△281
修正利益	641	1,281	+639	1,073

※1 E/I損害率+正味事業費率（以下同様）

※2 株式先物関連損益等

- 新型コロナウイルスによる影響を火災保険・自動車保険の増収でカバーし、除く自賠責・家計地震で横ばい

種目別正味収入保険料

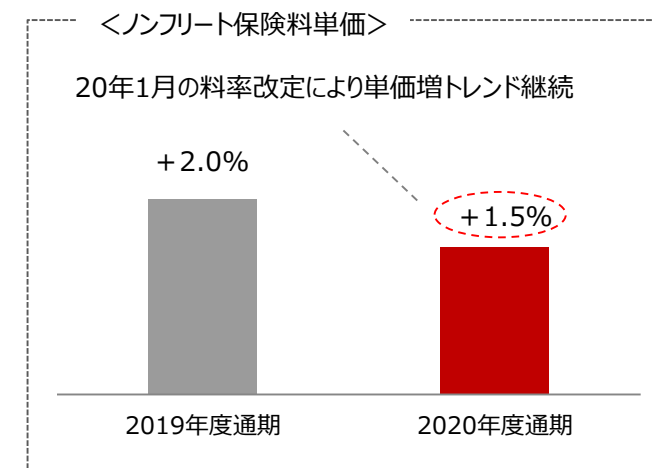
(単位：億円)	2019年度	2020年度	増減	2021年度 (予想)
火災	2,851	3,063	+212 (+7.4%)	3,094
海上	469	405	△63 (△13.5%)	425
傷害	1,669	1,521	△148 (△8.9%)	1,588
自動車	10,847	10,898	+50 (+0.5%)	10,965
自賠責	2,805	2,376	△428 (△15.3%)	2,303
その他	3,205	3,148	△56 (△1.8%)	3,222
うち賠償責任	1,685	1,588	△97 (△5.8%)	1,582
合計	21,847	21,414	△433 (△2.0%)	21,600
合計 (除く自賠責・家計地震)	19,038	19,034	△3 (△0.0%)	19,293

(参考) 自動車保険の台数・単価・保険料
対前年同期比 (2020年4月～2021年3月)

(営業成績保険料ベース)

	台数※	単価	保険料
ノンフリート	△0.6%	+1.5%	+0.9%
フリート	△4.1%	+1.9%	△2.3%
合計	△1.3%	+1.7%	+0.3%

※ 時間単位型自動車保険 乗るピタ! を除く



(主な増減要因)

火災：料率適正化・企業分野の増収などにより増収

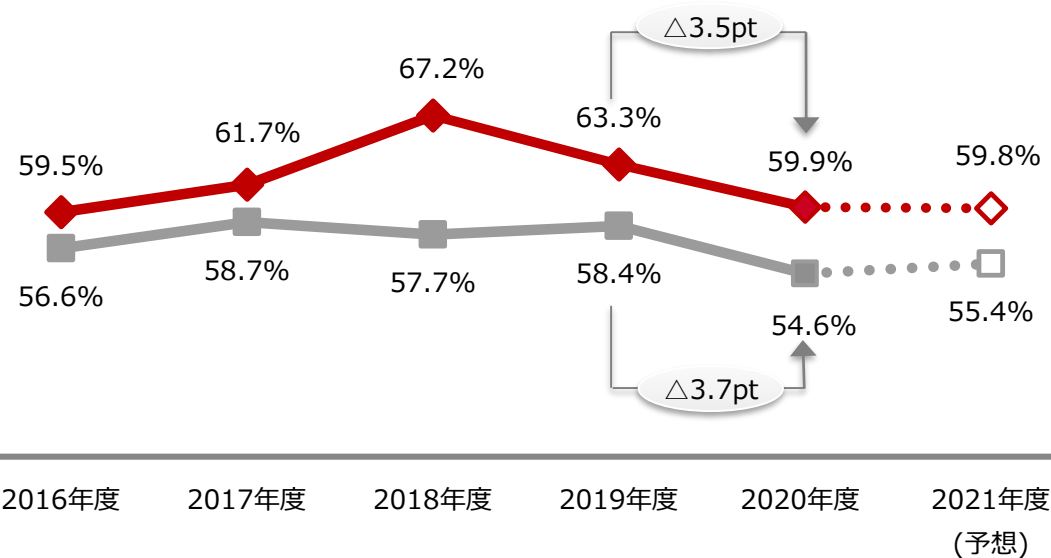
傷害：外出自粛影響等により旅行保険を中心に減収

自動車：新車販売不振等の影響を受けるも、料率適正化等により増収

その他：企業の売上減少を背景とした減収影響等があるも、主力商品のビジネスマスタープラスは引き続き好調

- 新型コロナ影響による自動車保険や傷害保険の事故率低下を主因に、E/I損害率は対前年△3.5pt改善

E/I損害率の推移

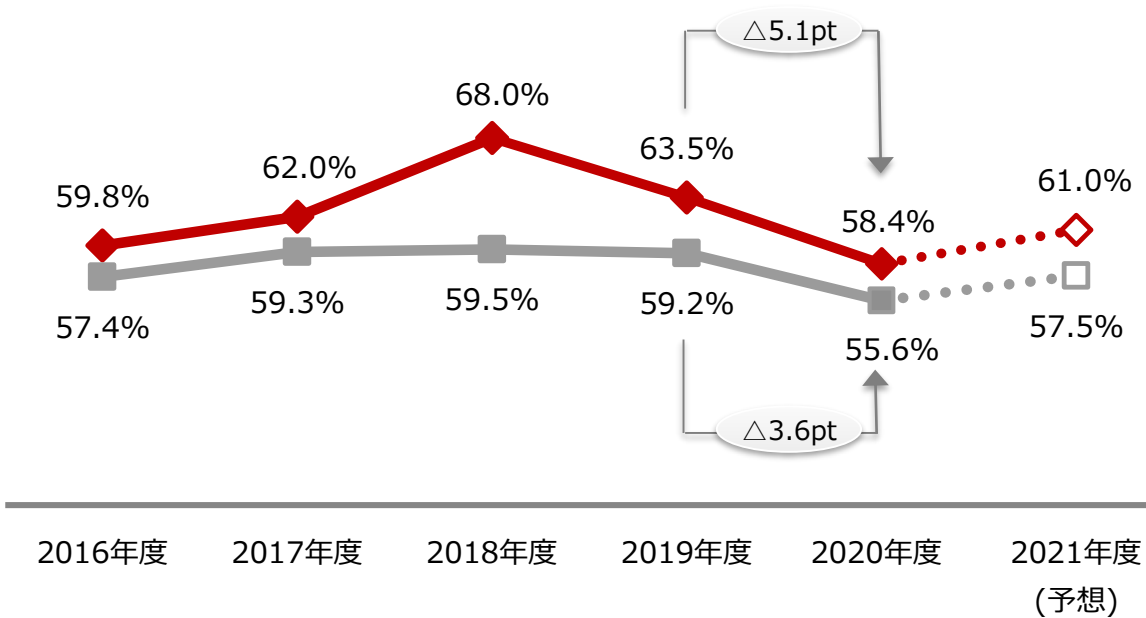


◆ 損害率（除く自賠責・家計地震）
■ 参考：損害率（除く自賠責・家計地震・国内自然災害）

(参考) 種目別E/I損害率	2020年度		2021年度 (予想)
	損害率	増減	損害率
火災（除く家計地震）	88.4%	+4.3pt	69.8%
海上	58.0%	+0.8pt	63.4%
傷害	44.8%	△7.8pt	52.7%
自動車	54.9%	△4.9pt	57.6%
その他	58.7%	△5.6pt	60.3%
合計 (除く自賠責・家計地震)	59.9%	△3.5pt	59.8%

(参考) 正味損害率 (リトン・ペイド)

正味損害率の推移

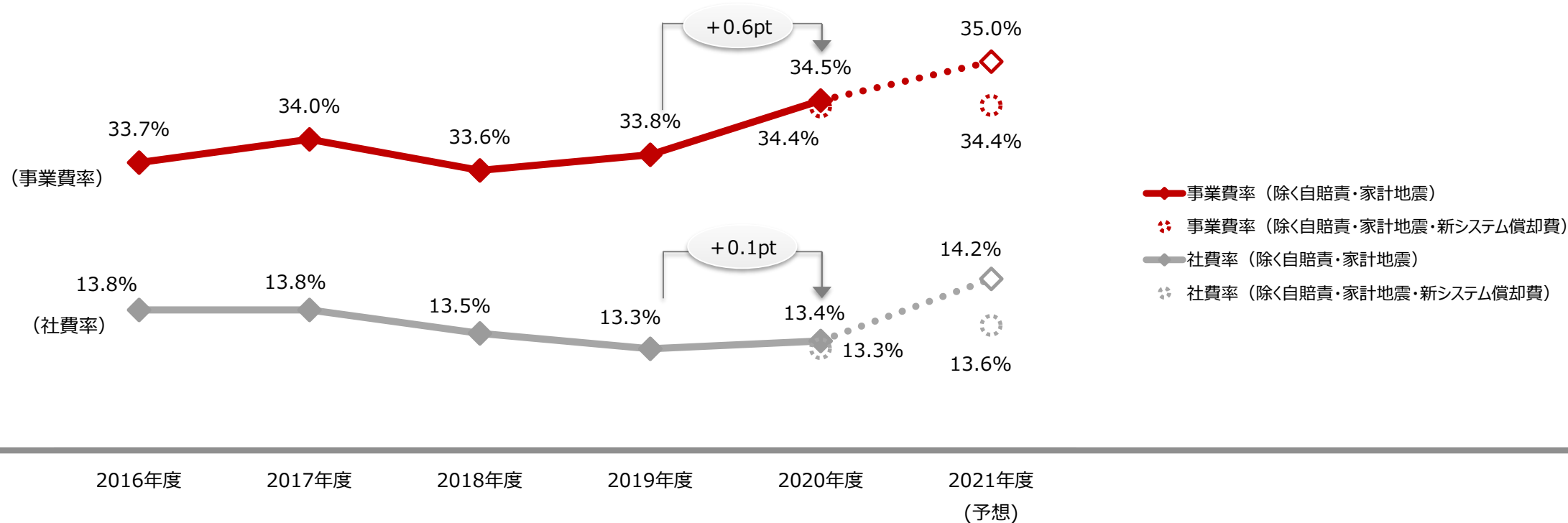


◆ 損害率 (除く自賠償・家計地震)
■ 参考：損害率 (除く自賠償・家計地震・国内自然災害)

(参考) 種目別W/P損害率	2020年度		2021年度 (予想)
	損害率	増減	損害率
火災 (除く家計地震)	72.2%	△12.5pt	78.9%
海上	64.4%	+0.9pt	63.9%
傷害	50.8%	△3.9pt	47.5%
自動車	55.5%	△5.0pt	58.2%
その他	57.9%	△1.1pt	59.4%
合計 (除く自賠償・家計地震)	58.4%	△5.1pt	61.0%

- 消費増税などにより、対前年で事業費は上昇するも、社費率は対前年横ばい
- 新システムの移行開始影響を除くと、2021年度の実業費率はおおむね横ばいを見込む

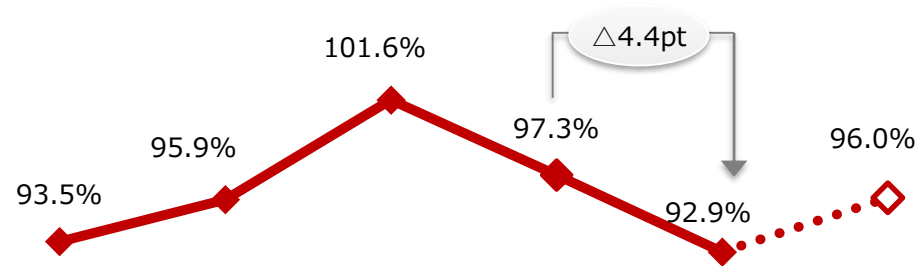
事業費率・社費率※（除く自賠責・家計地震）の推移



※ 保険引受に係る営業費および一般管理費の正味収入保険料に対する比率

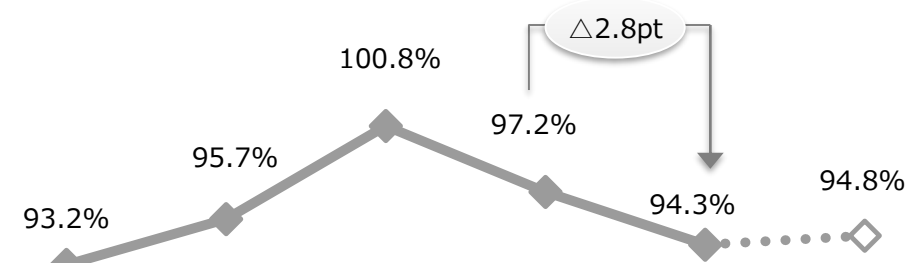
- 損害率の低下によりコンバインド・レシオは $\Delta 4.4$ pt改善の92.9%

コンバインド・レシオ (W/P) (除く自賠責・家計地震)



2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度
(予想)

(参考) E/Iコンバインド・レシオ (除く自賠責・家計地震)



2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度
(予想)

- 新型コロナ影響と子会社配当金を除くと、ネット利配は堅調

資産運用粗利益（損保ジャパン単体）

	(単位：億円)	2019年度	2020年度	増減	2021年度 (予想)
ネット利息及び配当金収入	①	1,020	941	△78	939
利息及び配当金収入※		1,371	1,261	△109	1,249
（うち海外子会社配当金）		227	112	△114	300
有価証券売却損益※	②	791	648	△142	307
（うち国内株式）		649	521	△127	330
有価証券評価損	③	△117	△32	+84	△30
（うち国内株式）		△89	△22	+67	△20
金融派生商品損益	④	△92	△130	△38	△52
その他損益	⑤	△93	37	+130	42
資産運用粗利益（①～⑤計）		1,509	1,464	△45	1,207

（参考）政策株式削減額

703億円

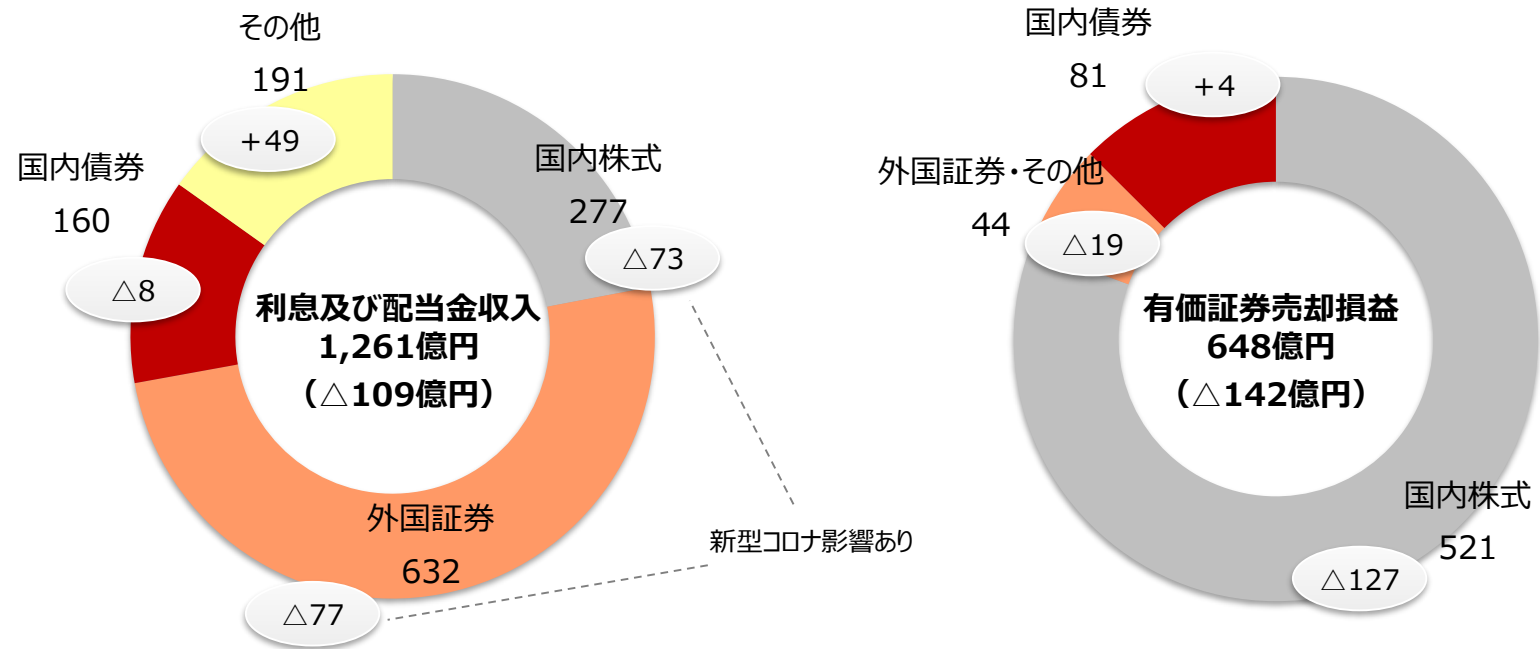
時価ベースのネット削減額
（売却時価－購入時価）

※ 内訳は次ページ参照

(参考) 資産運用粗利益の内訳

利息及び配当金収入・有価証券売却損益の内訳 (2020年度)

(億円)



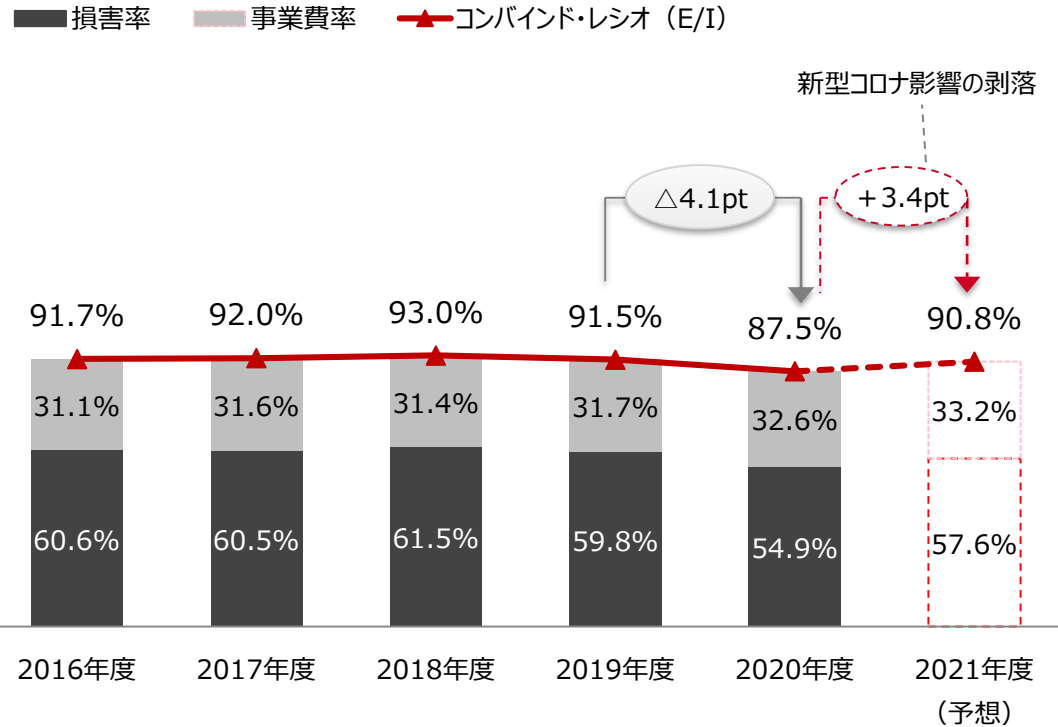
○ : 2019年度対比の増減額

(参考) 2021年度通期業績予想 (損保ジャパン)

(単位：億円)	2020年度 (実績)	2021年度 (予想)	増減
正味収入保険料	21,414	21,600	+185 (+0.9%)
(除く自賠責・家計地震)	19,034	19,293	+259 (+1.4%)
既経過保険料 (除く自賠責・家計地震)	18,857	19,262	+405 (+2.1%)
E/I損害率 (除く自賠責・家計地震)	59.9%	59.8%	△0.1pt
正味損害率	60.8%	64.6%	+3.8pt
(除く自賠責・家計地震)	58.4%	61.0%	+2.6pt
正味事業費率	33.6%	34.3%	+0.6pt
(除く自賠責・家計地震)	34.5%	35.0%	+0.6pt
コンバインド・レシオ (W/P) (除く自賠責・家計地震)	92.9%	96.0%	+3.1pt
(参考) コンバインド・レシオ (E/I) (除く自賠責・家計地震)	94.3%	94.8%	+0.5pt
保険引受利益	663	715	+51 (+7.7%)
資産運用粗利益	1,464	1,207	△256 (△17.5%)
経常利益	1,974	1,745	△229 (△11.6%)
当期純利益	1,469	1,330	△139 (△9.5%)
(参考)			
修正利益			
異常危険準備金繰入額等 (税引後)	+262	+195	△67
価格変動準備金繰入額 (税引後)	+28	+29	+0
有価証券売却損益・評価損 (税引後)	△435	△200	+235
特殊要因 (税引後) ※	△44	△281	△237
修正利益	1,281	1,073	△208

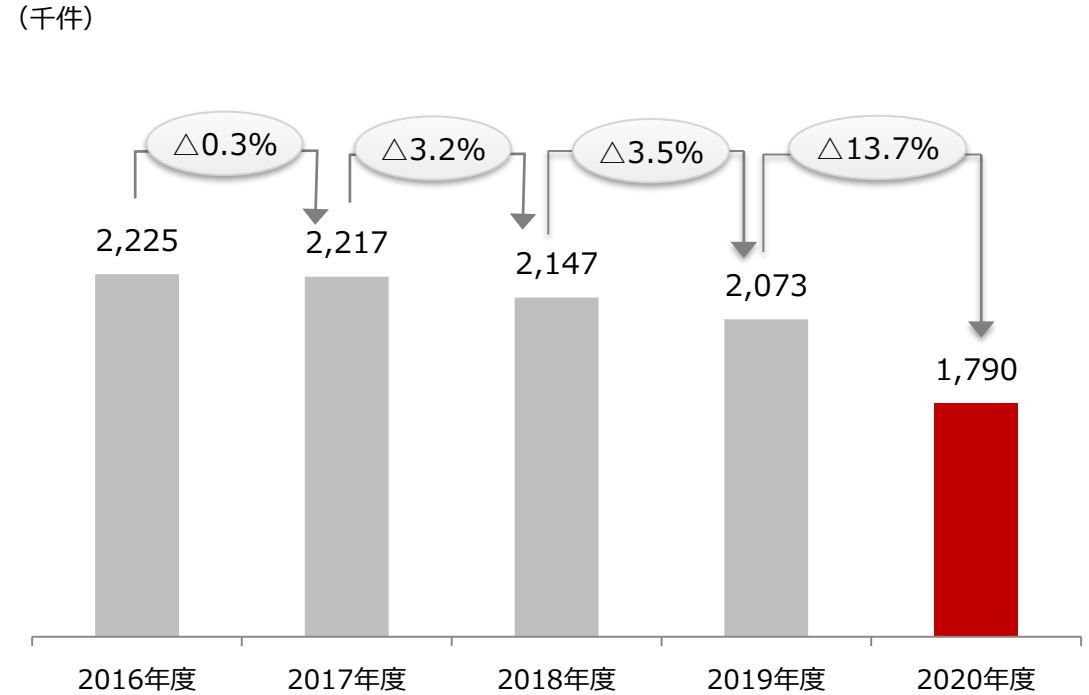
※ グループ会社配当など

コンバインド・レシオ (E/I) の推移



※ 損害率はE/Iベース (含む損調費)

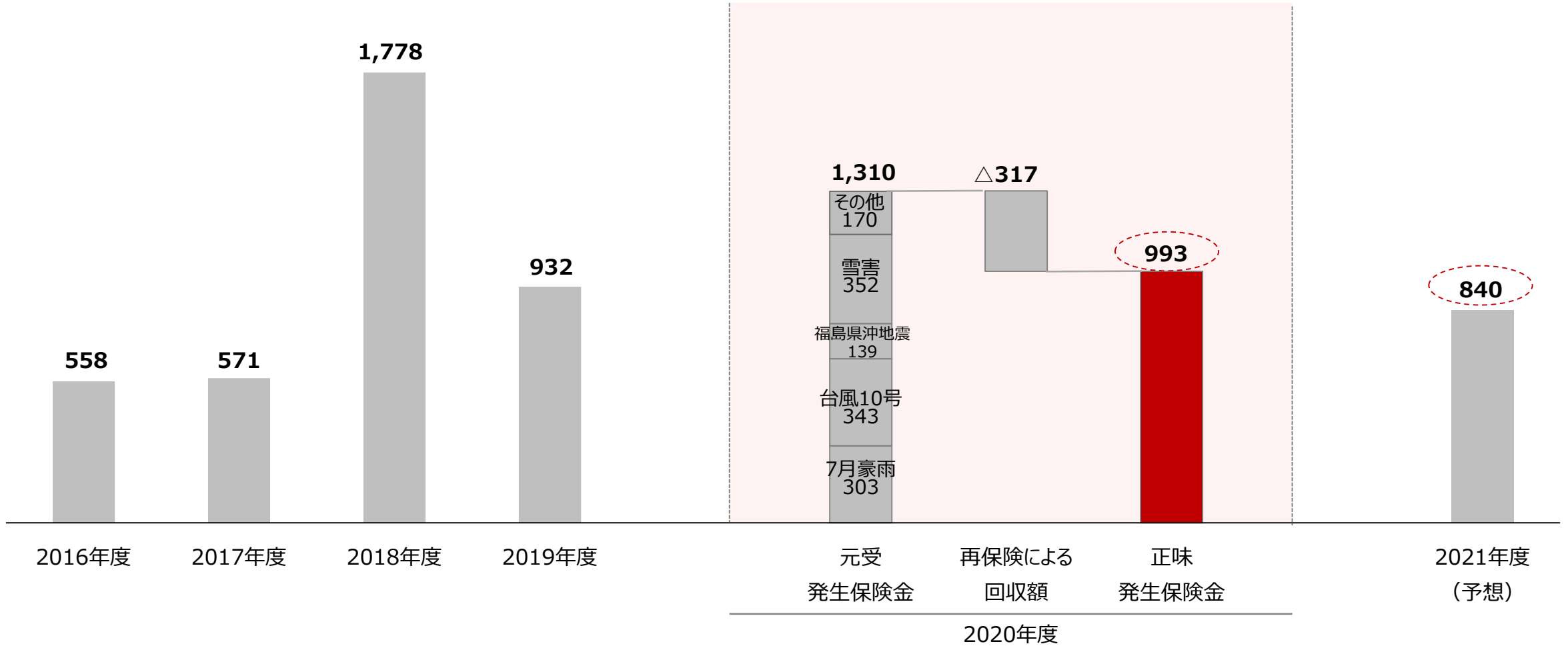
事故受付件数の推移



※ 発生損害が一定額を超過した自然災害に係る件数を除く

国内自然災害の正味発生損害（当年度発生）※

（単位：億円）



※ 除く自賠責・家計地震

(参考) 責任準備金・支払備金**責任準備金・支払備金 (2020年度)**

(単位：億円)	普通責任準備金 ^{※1}		異常危険準備金		支払備金	
	残高	積増額	残高	積増額	残高	積増額
火災 ^{※2}	7,752	+149	1,036	△32	1,424	+337
海上	199	△15	440	+0	214	△10
傷害	1,273	△0	763	+48	448	△90
自動車	3,203	+9	710	+353	3,711	△70
自賠責 ^{※2}	4,620	△9	-	-	626	△62
その他	3,460	△6	1,987	△9	2,299	+29
合計	20,511	+127	4,940	+361	8,724	+133
合計 (除く自賠責・家計地震)	15,855	+158	4,940	+361	8,076	+173
	残高	積増額				積増額
長期性資産 ^{※3}	11,385	△824			外貨建支払備金の為替影響	+44

※1 積立保険以外に係る払戻積立金を含む

※2 地震保険および自賠責保険に係る責任準備金は普通責任準備金に含む

※3 払戻積立金と契約者配当金として積み立てられている積立保険の収入積立保険料とその運用益の累積残

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

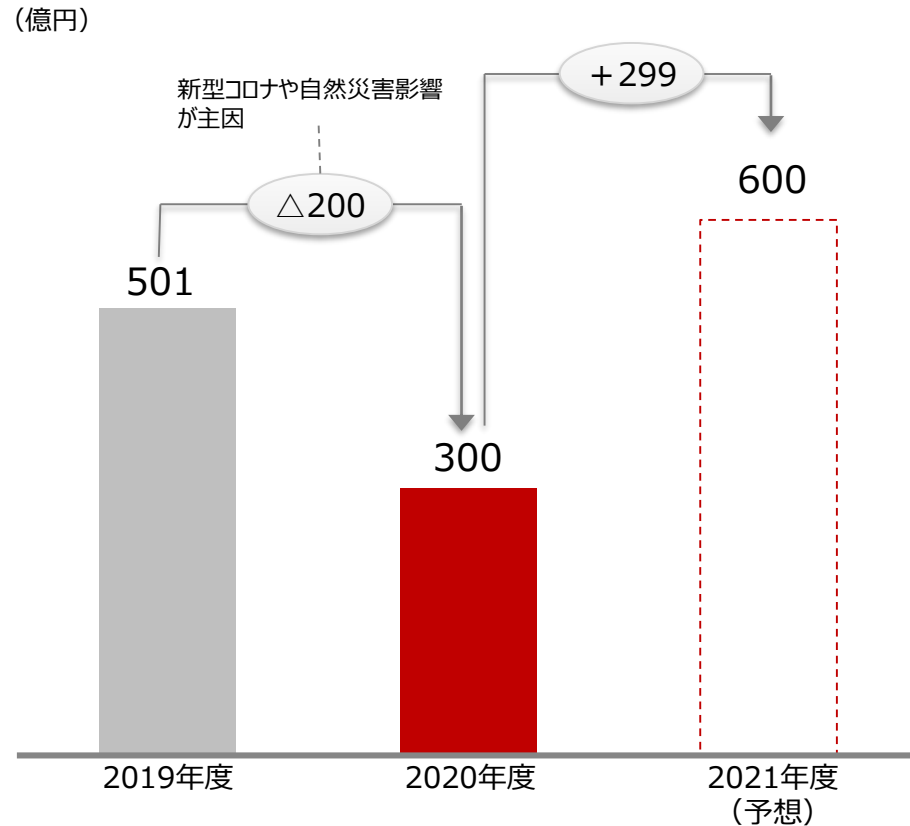
5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

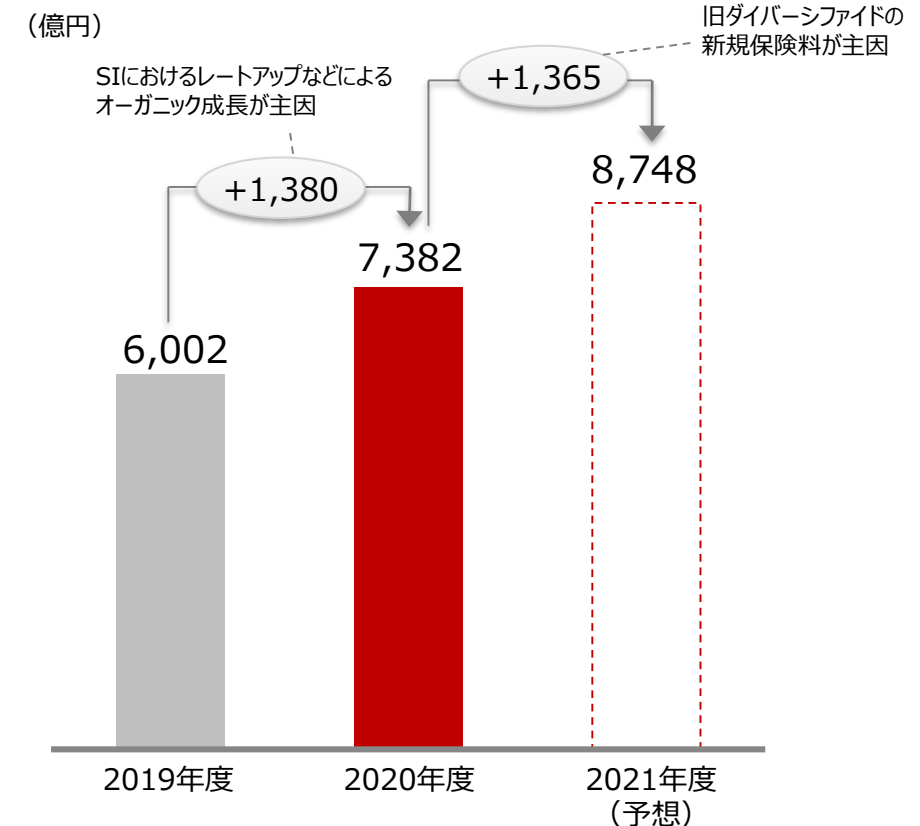
業績概況（海外保険事業）

- 2020年度は、SIにおける新型コロナや自然災害影響を主因に、修正利益は△200億円の減益
- 2021年度は、新型コロナ等一過性要因の剥落とレートアップ効果等により、修正利益は299億円の増益を見込む

修正利益※



(参考) 収入保険料※



※ 収入保険料は、持分割合を反映した数値を記載しており、連結財務諸表とは基準が異なる。修正利益は、持分割合の反映などの調整を行っている

(参考) 地域別業績

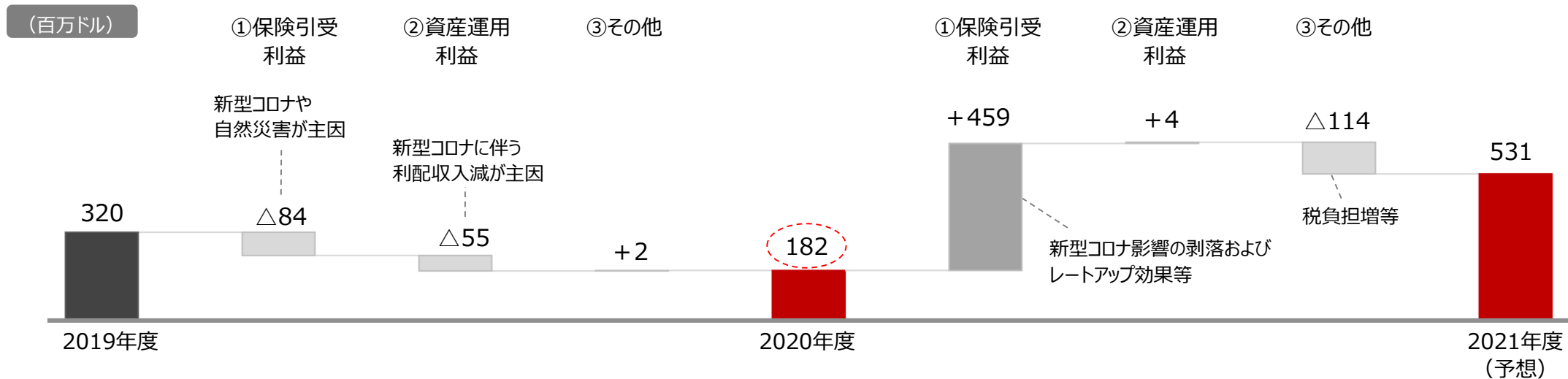
(単位：億円)		収入保険料			修正利益			2020年度決算のポイント	(参考) 為替レート	
		2020年度		2021年度	2020年度		2021年度		2020年12月※2 (対前年為替影響)	
		実績	増減	予想	実績	増減	予想			
欧米	SI	6,088	+1,792	7,414	188	△162	588	P31、P32ご参照	103.50 円/米ドル	(△5.5%)
中東	Sompoシゴルタ (トルコ)	301	△103	293	63	△19	42	現地通貨ベースでは修正利益予想を達成も、 為替影響により減益	13.97 円/リラ	(△24.2%)
アジア	ベルジャヤソンポ (マレーシア) 等	392	△68	476	50	+8	51	新型コロナによる経済活動停滞での損害率低下を 主因に、ほぼ全ての拠点で修正利益予想を達成	-	-
南米	Sompoセグロス (ブラジル)	564	△239	499	△16	△37	△17	備金積み増し、および低調な運用収益等が マイナス寄与し減益	19.89 円/リアル	(△26.5%)
非連結※1		35	△0	65	4	△0	△0	-	-	-
合計		7,382	+1,380	8,748	300	△200	600	-	-	-

※1 Sompoタイランド、PGAソンポ（フィリピン）、ユナイテッドインシュアランス（ベトナム）の合計

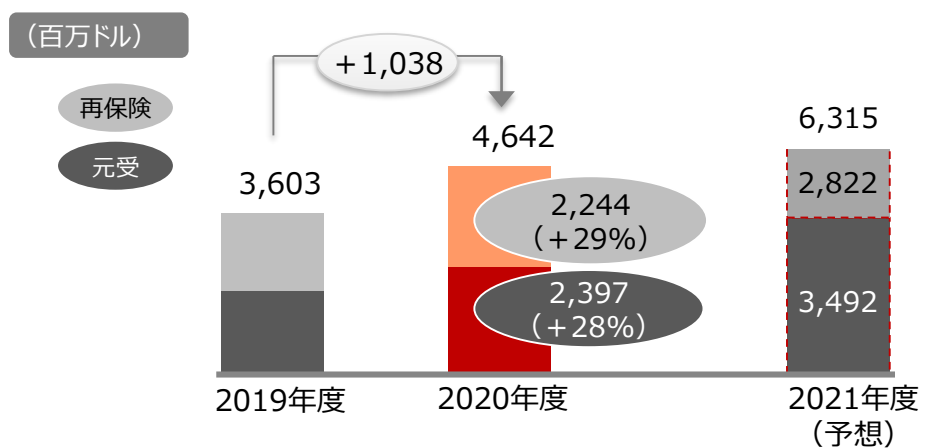
※2 通期業績予想における前提為替レートは2021年3月末時点を使用

(参考) SI業績概況①

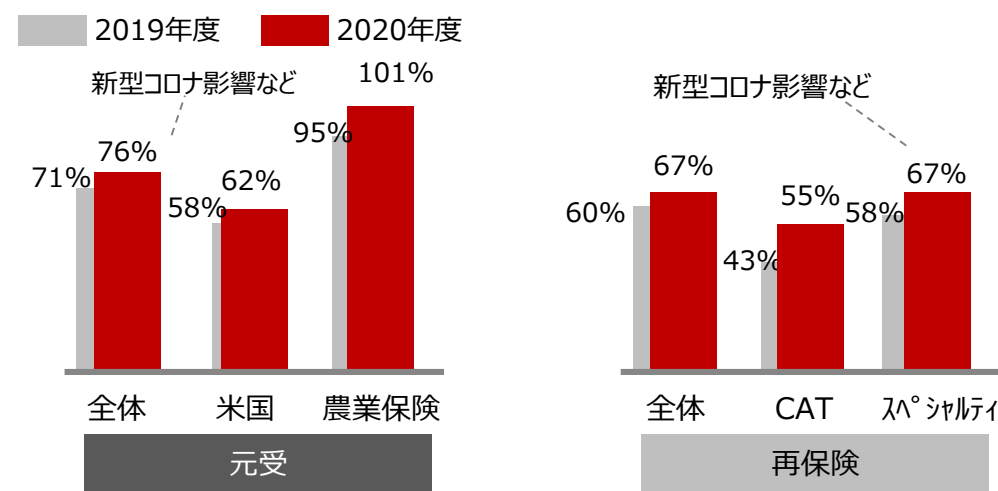
修正利益の増減要因



既経過保険料の推移



主要セグメント別損害率



(参考) SI業績概況②

	2019年度	2020年度		2021年度		
	(実績)	(実績)	対前年増減	(予想)	対前年増減	
(百万ドル)						
グロス保険料	6,787	9,354	+2,566	10,312	+957	順調なレートアップが主因
正味保険料	3,921	5,882	+1,961	6,696	+814	旧ダイバーシファイドの新保険料が主因。 2020年度のレートアップも2021年度の 既経過保険料増に効果
既経過保険料	3,603	4,642	+1,038	6,315	+1,673	
発生保険金	2,372	3,326	+954	4,102	+776	
事業費	1,095	1,212	+117	1,686	+474	
損害率※1	65.8%	71.7%	+5.8pt	65.0%	△6.7pt	
事業費率※1	30.4%	26.1%	△4.3pt	26.7%	+0.6pt	社費率改善が主因
コンバインド・レシオ※1	96.2%	97.8%	+1.6pt	91.7%	△6.1pt	
保険引受利益	143	58	△84	518	+459	
資産運用利益	301	245	△55	249	+4	
その他損益	177	43	△134	△123	△166	前年度の有価証券未実現益の剥落 (Sompo HD連結消去)等
当期純利益	553	285	△267	531	+245	
(参考) 為替損益	+6	+32	+26	-	-	
有価証券売却・減損損失等※2	△274	△154	+120	-	-	
修正利益	+35	+18	△17	-	-	
修正利益	320	182	△137	531	+349	

※1 損害率、事業費率、コンバインド・レシオ算出における分母は既経過保険料
 ※2 未実現損益を含む

(参考) 農業保険既経過保険料の認識タイミング (季節性イメージ)
 1Q : 10~15% 2Q : 25~30% 3Q : 30~35% 4Q : 25~30%

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

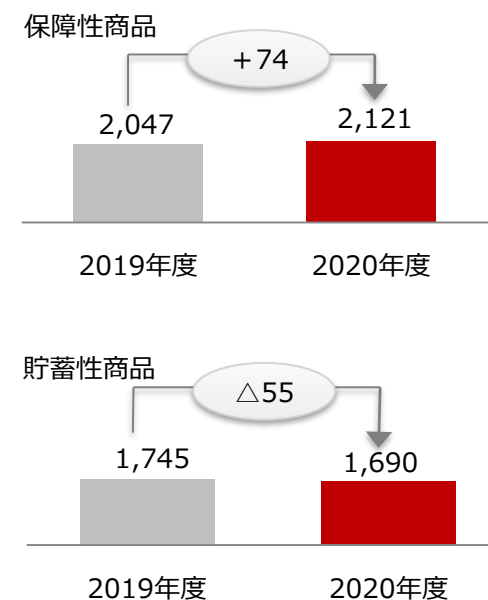
6. ERM・資産運用

- 保障性商品の保有増加等により、2020年度の修正利益は+17億円の増益
- 2020年6月発売の新医療保険の販売好調により、新契約年換算保険料は+18億円の増加

主要業績

(単位：億円)	2019年度	2020年度	増減	2021年度 (予想)
新契約年換算保険料	250	268	+18 (+7.3%)	401
保険料等収入※1	4,465	4,415	△49 (△1.1%)	4,595
責任準備金繰入等※2	2,995	2,917	△78 (△2.6%)	3,015
保険金等支払	733	726	△7 (△1.0%)	780
事業費	876	872	△3 (△0.4%)	1,025
資産運用損益	458	534	+75 (+16.6%)	524
（うち一般勘定）	478	485	+7 (+1.6%)	475
基礎利益	272	318	+45 (+16.6%)	211
経常利益※1	284	321	+36 (+13.0%)	201
当期純利益	165	200	+34 (+20.9%)	116
修正利益	320	338	+17 (+5.4%)	325

(単位：億円)
(参考) 保有契約年換算保険料※3



※3 個人保険と個人年金保険の合計

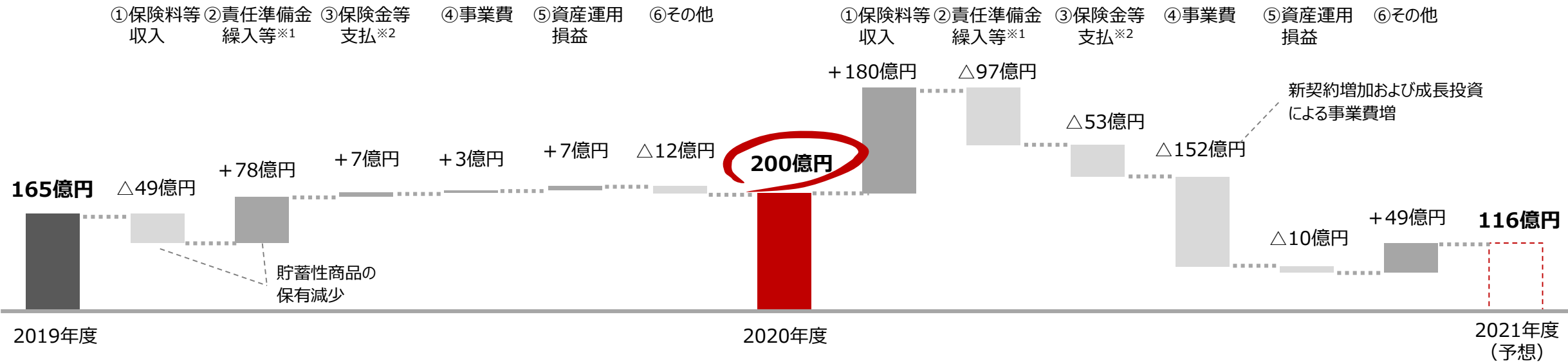
※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値（連結様式とは異なる）

※2 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定資産運用損益を含む

- 2020年度は、貯蓄性商品の保有減少に伴う責任負担軽減などにより、当期純利益は+34億円増益し200億円
- 2021年度は、新契約増加および成長投資による責任準備金繰入・事業費増等を反映し、当期純利益は116億円を見込む

当期純利益の増減要因（2020年度実績）

当期純利益の増減要因（2021年度予想）



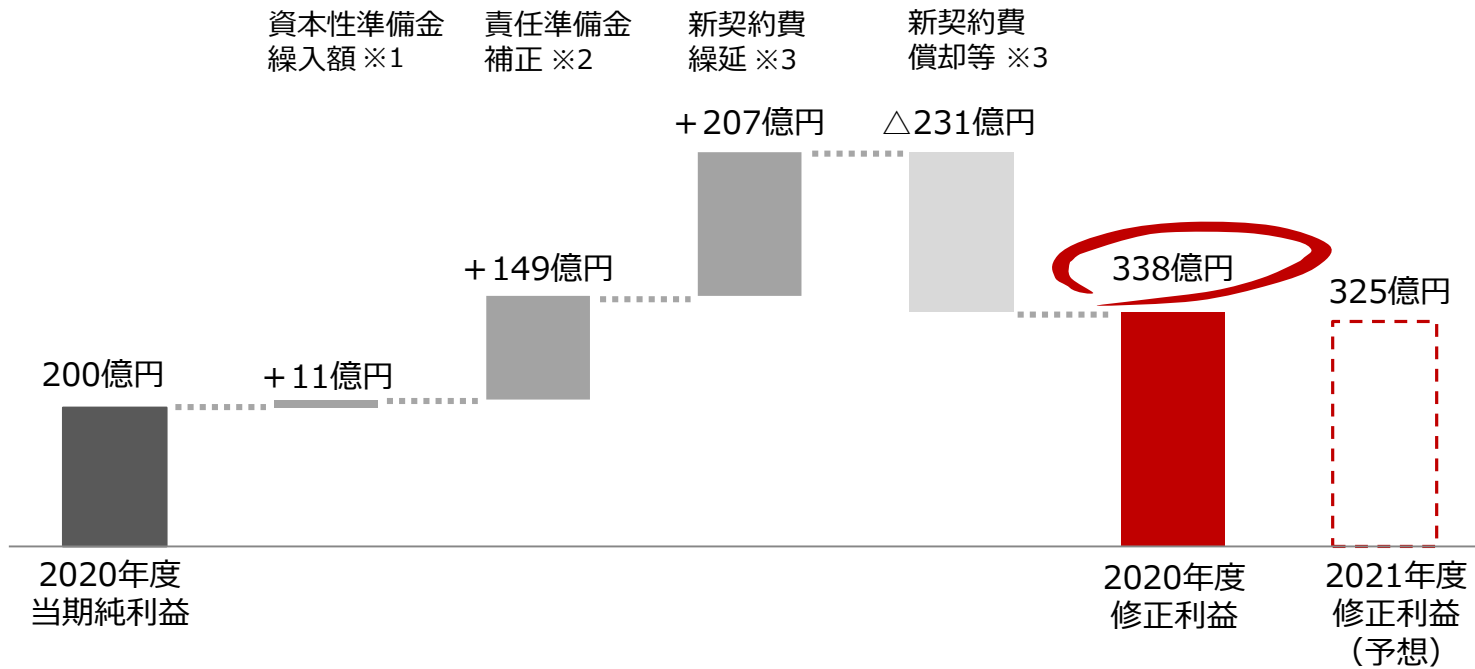
	①保険料等収入	②責任準備金繰入等	③保険金等支払	④事業費	⑤資産運用損益(一般勘定)	⑥その他	当期純利益
2019年度	4,465億円	△2,995億円	△733億円	△876億円	478億円	△171億円	165億円
2020年度	4,415億円	△2,917億円	△726億円	△872億円	485億円	△183億円	200億円
2021年度(予想)	4,595億円	△3,015億円	△780億円	△1,025億円	475億円	△133億円	116億円

※1 保険金備金（除く満期保険金備金）、給付金備金（除く生存給付金備金）繰入取崩影響を含む
 ※2 その他経常損益、特別損益、契約者配当準備金繰入、法人税等の合計

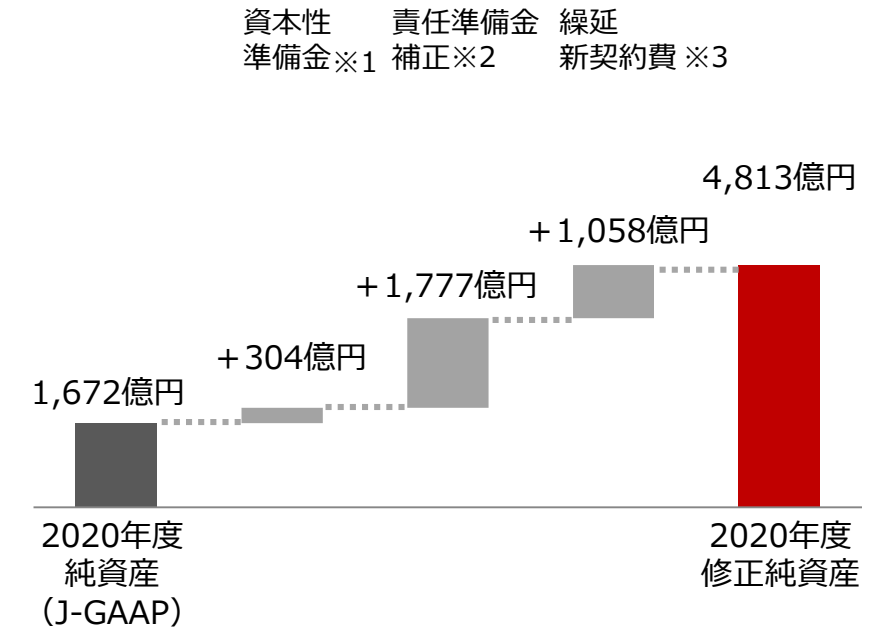
修正利益・修正純資産（ひまわり生命）

- 2020年度は修正利益は338億円となり、通期業績予想325億円に対して+13億円の増益
- 2021年度は収益性の高い保障性商品の拡大を継続する一方、成長投資に伴う事業費増加を見込み、△13億円減益の325億円

当期純利益から修正利益へのコンバージョン

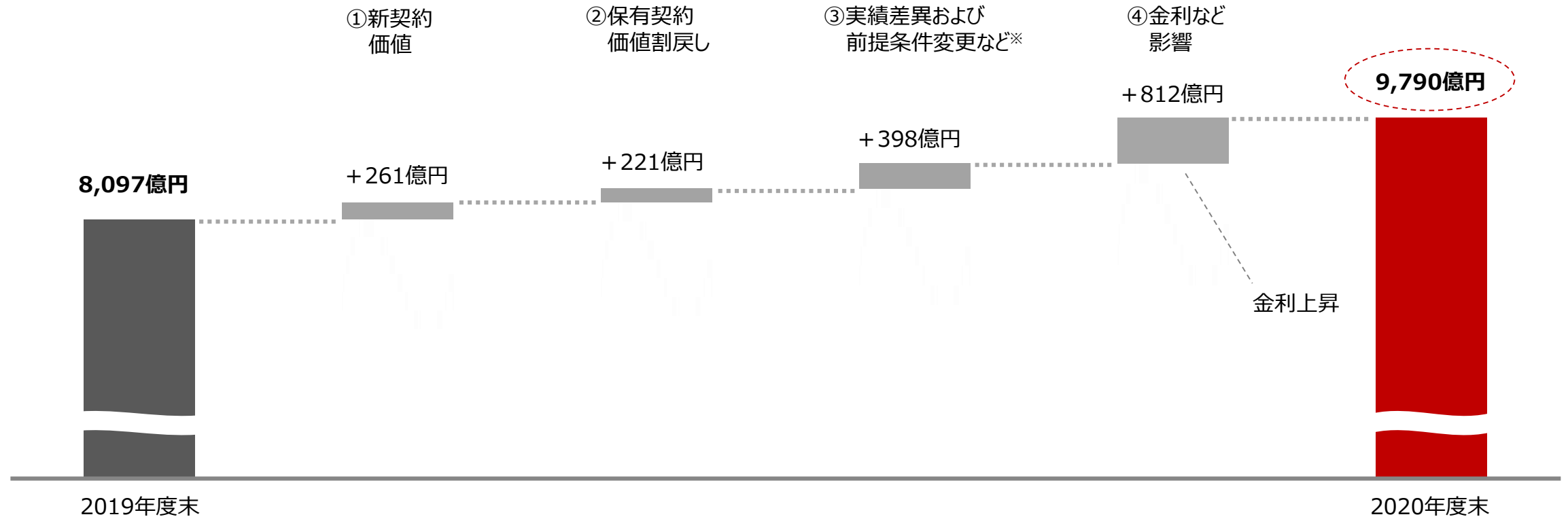


(参考) 修正純資産



※1 危険準備金、価格変動準備金（税引後）
 ※2 保守的に計算している責任準備金を保険料計算に用いる基礎率により再計算（税引後）
 ※3 契約初年度に発生する募集手数料等の新契約費を10年間で償却（税引後）

MCEVの増減要因



※ 解約率の前提条件変更、配当支払など

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

業績概況（介護・ヘルスケア事業等）

- 介護事業の修正利益は、新型コロナによる特別損失等があるも、会社区分変更による税効果の特殊要因もあり+10億円増益
- 2021年度修正利益は、特殊要因の剥落等で減益予想も、ベースの実力は堅調

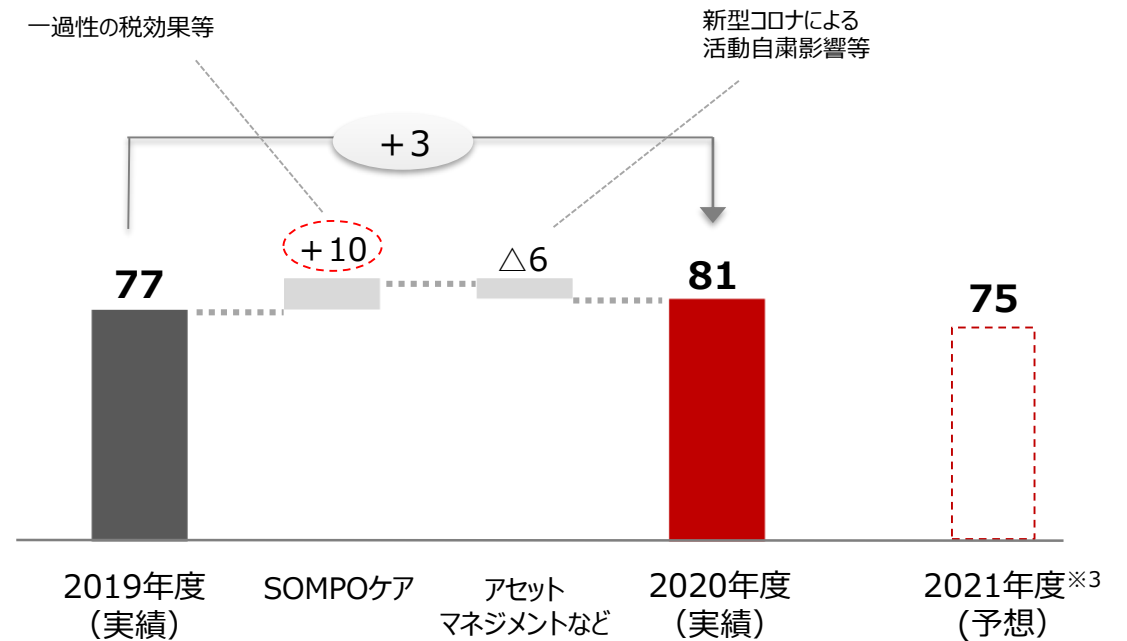
介護事業（SOMPOケア）の業績

(単位：億円)	2020年度		2021年度
	(実績)	(増減)	(予想)
売上高	1,318	+34	1,375
修正利益	73	+10	65
入居率※1			
(そんぽの家)	90.6%	△1.8pt	91.6%
(そんぽの家S)	91.5%	△2.5pt	93.2%
(ラヴィーレ)	86.4%	△2.1pt	88.0%

※1 入居率 = 入居者数 ÷ 施設定員数
 そんぽの家は旧SOMPOケアの介護付きホーム、
 そんぽの家Sは同社のサービス付き高齢者向け住宅、
 ラヴィーレは旧SOMPOケアネクストの介護付きホームを示すブランド名

介護・ヘルスケア事業等※2の修正利益

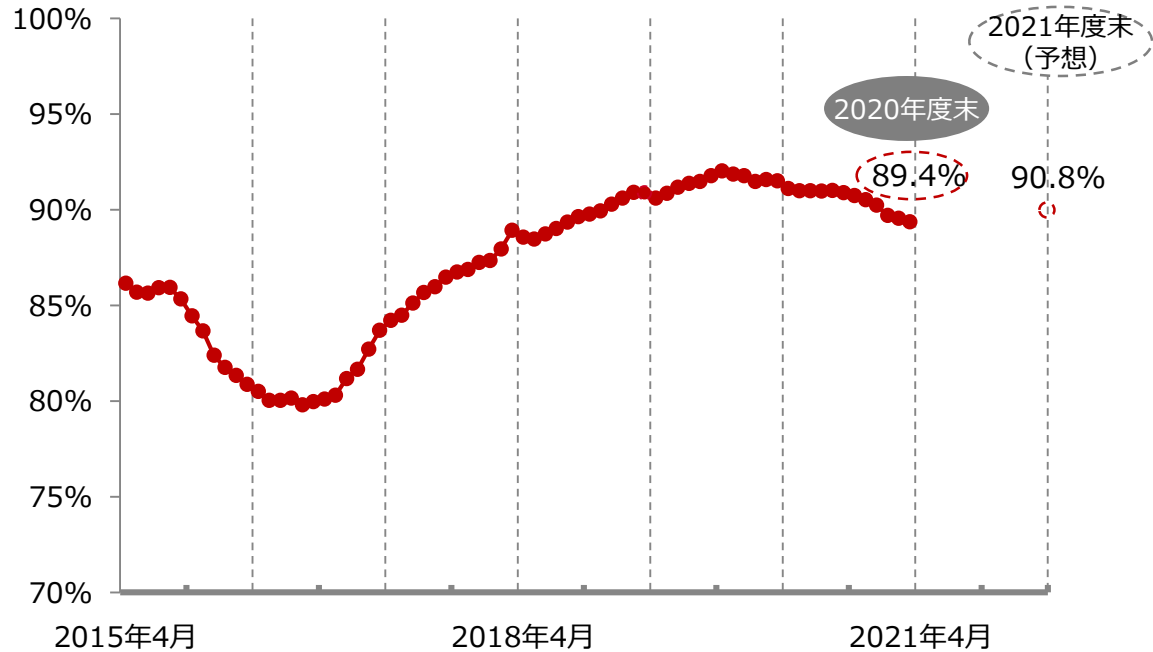
(単位：億円)



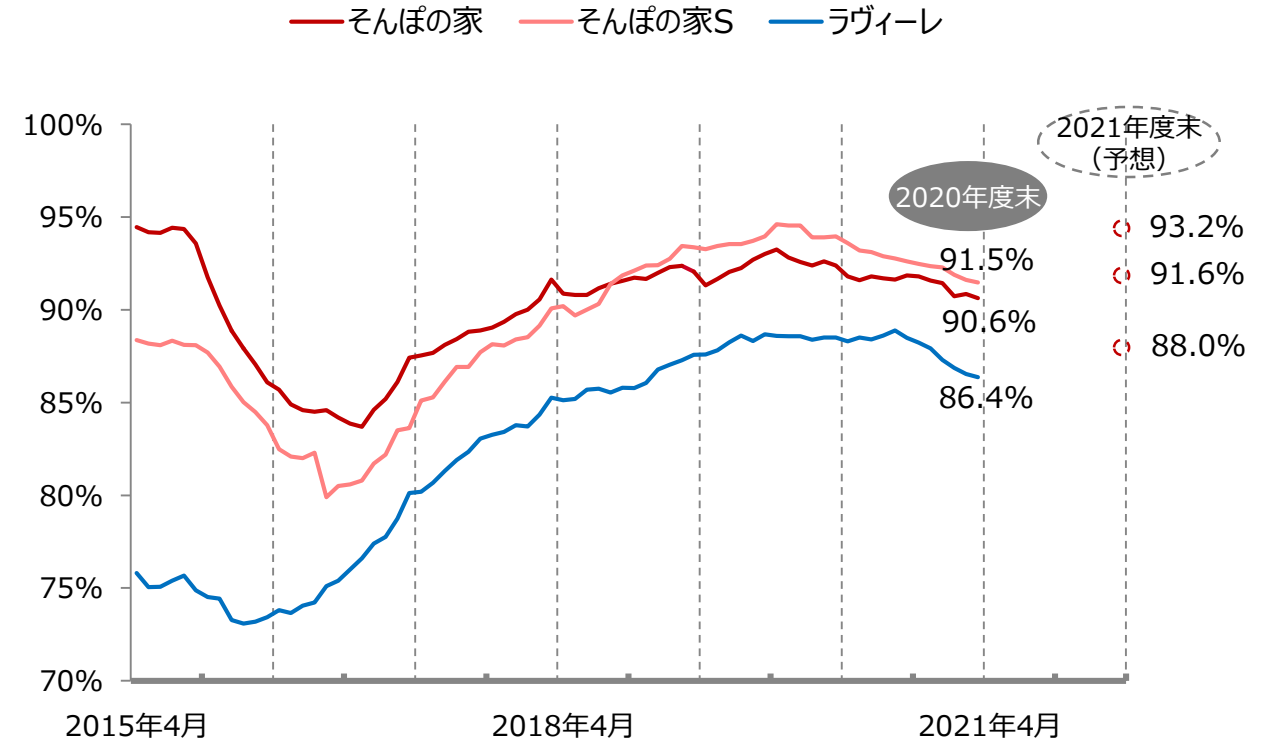
※2 介護・ヘルスケア事業等は、SOMPOケア、アセットマネジメントなどの合計

※3 2021年度予想は介護・シニア事業（SOMPOケア社）等

入居率※の推移



(参考) ブランド別入居率の推移



※ 旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストの入居率を統合して記載

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

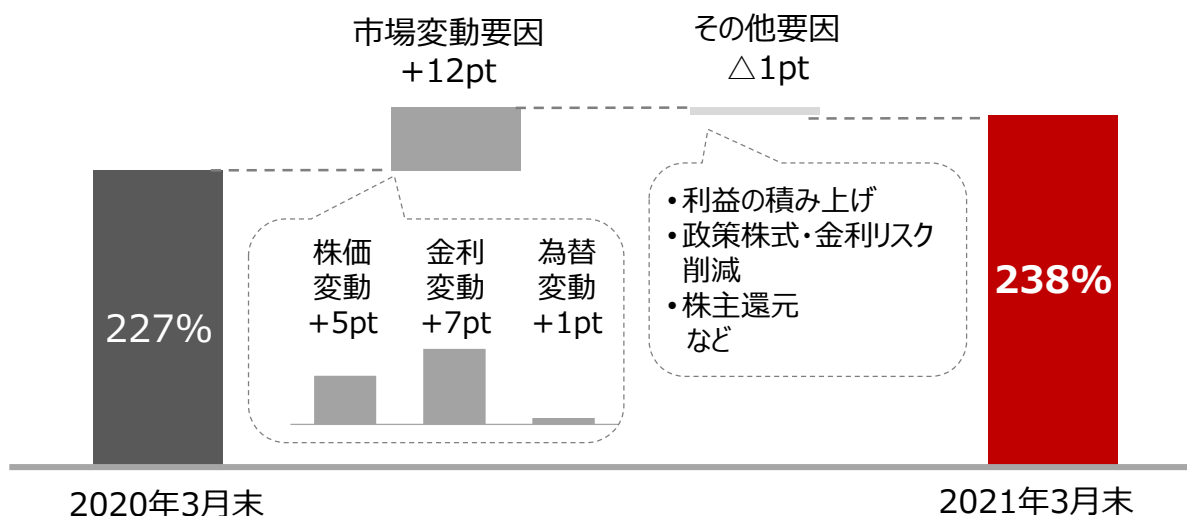
6. ERM・資産運用

財務健全性：ESR（99.5%VaR）



- 2021年3月末のESR（99.5%VaR）は238%と、ターゲットレンジ内の資本水準を維持

ESR（99.5%VaR）※1の推移



※1 ソルベンシー II に準拠した算出方法

ESR（99.5%VaR）におけるターゲット資本水準は、概ね180%～250%

250%水準：資本効率（ROE）の観点を踏まえた水準

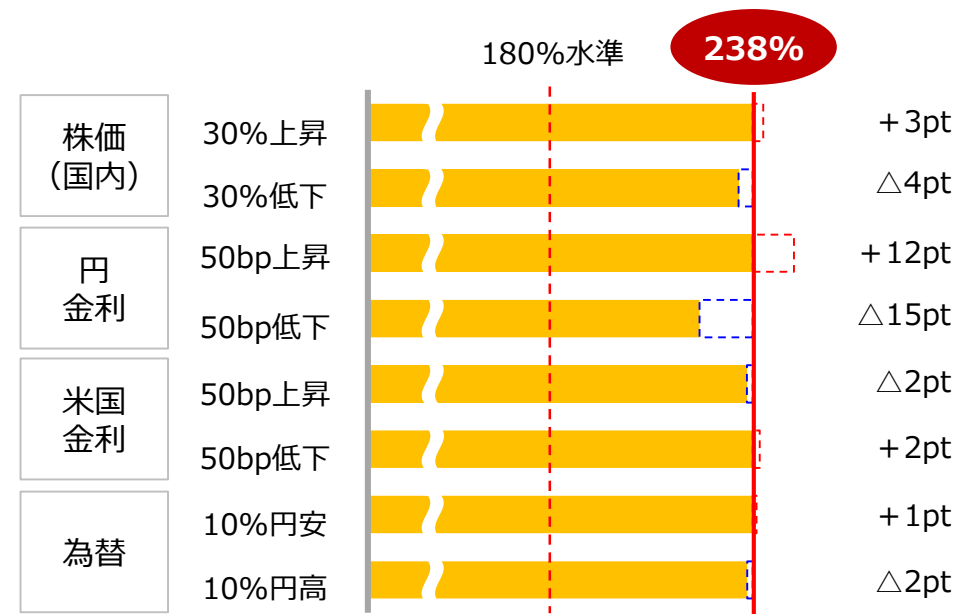
180%水準：ストレステストの結果などを踏まえ、財務健全性を安定的に確保可能な水準

恒常的にターゲットレンジ外の水準となる場合の代表的な対応

【250%超】 追加的リスクテイク（成長投資）の検討、自己株式取得等による株主還元拡充など

【180%未満】 各種リスク削減策の実施、ハイブリッド債等による資本増強の検討、内部留保強化など

ESR（99.5%VaR）の感応度分析

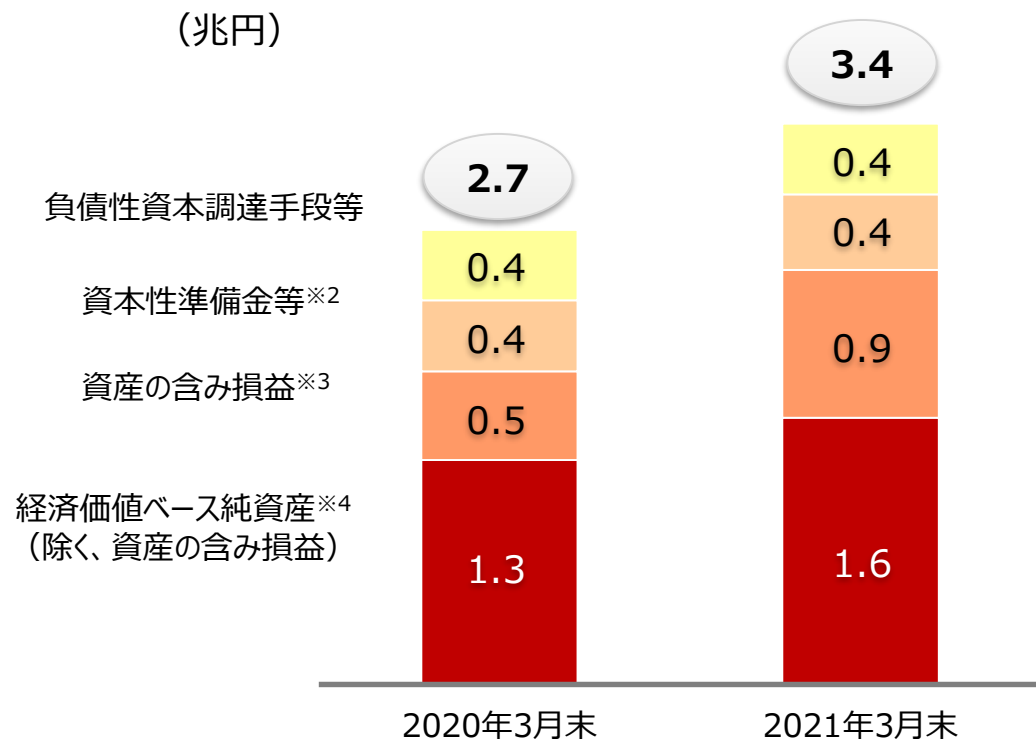


（参考）市場環境	2021年3月末	（増減※2）
国内株価（日経平均株価）	29,178円	(+54.2%)
国内金利（30年物国債利回り）	0.67%	(+24bp)
米国金利	1.74%	(+107bp)
為替（米ドル円レート）	110.71円	(+1.7%)

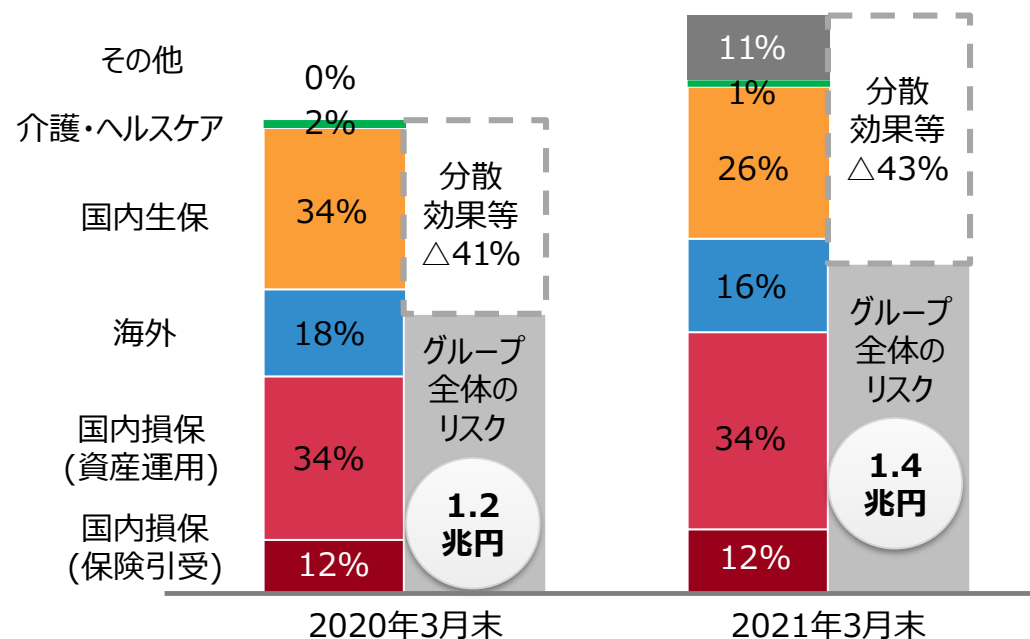
※2 2020年3月末対比

(参考) 実質自己資本・リスク量のブレイクダウン

実質自己資本※1



リスク量※5



※1 実質自己資本 = 単体BS純資産合計額 + 保有契約価値 - のれん等 + 時価評価しない資産の含み損益 + 資本性準備金等 + 負債性資本調達手段等

※2 価格変動準備金、異常危険準備金など (税引後)

※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益

※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値などを加算 (のれんや非支配株主持分等は控除)

※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測

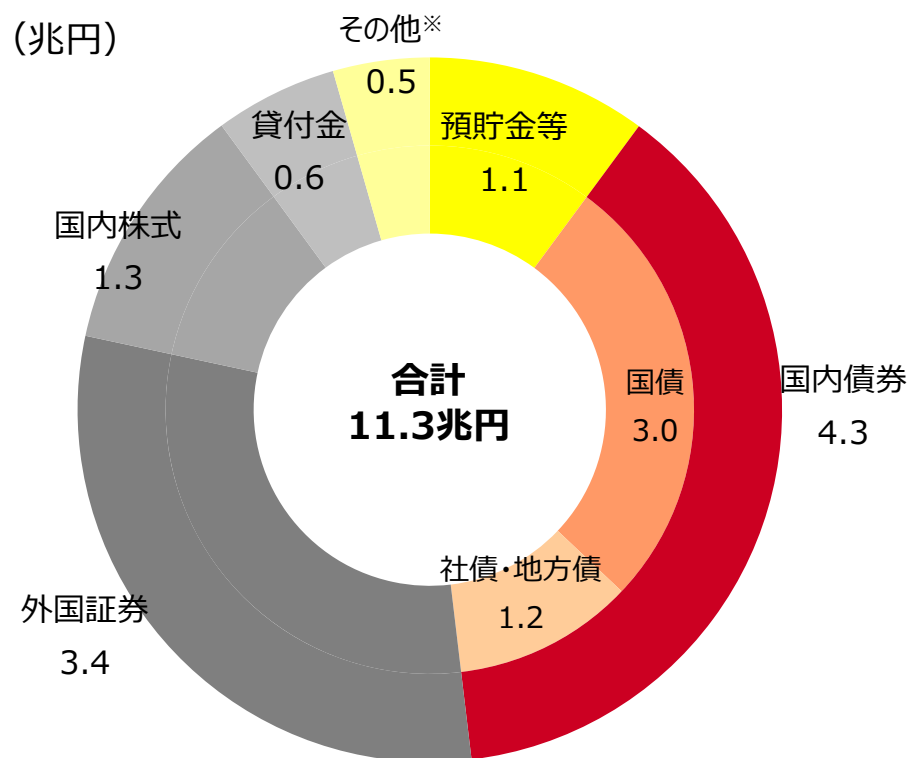
事業毎のリスク量：事業間のリスク分散効果控除前 (税引前)

グループ全体のリスク：事業毎のリスク量合計 - 分散効果 - 税効果

資産ポートフォリオ（グループ連結ベース）

- 負債特性や流動性・安全性などを踏まえ、債券を中心とした安定的なポートフォリオを構築

運用資産額（2021年3月末 グループ連結ベース）



グループ会社別運用資産額

(単位：億円)

	運用資産額	構成比
損保ジャパン	55,804	49.1%
海外グループ会社	15,989	14.1%
ひまわり生命（一般勘定）	37,244	32.8%
セゾン自動車火災	656	0.6%
国内その他	3,884	3.4%
合計	113,578	100%

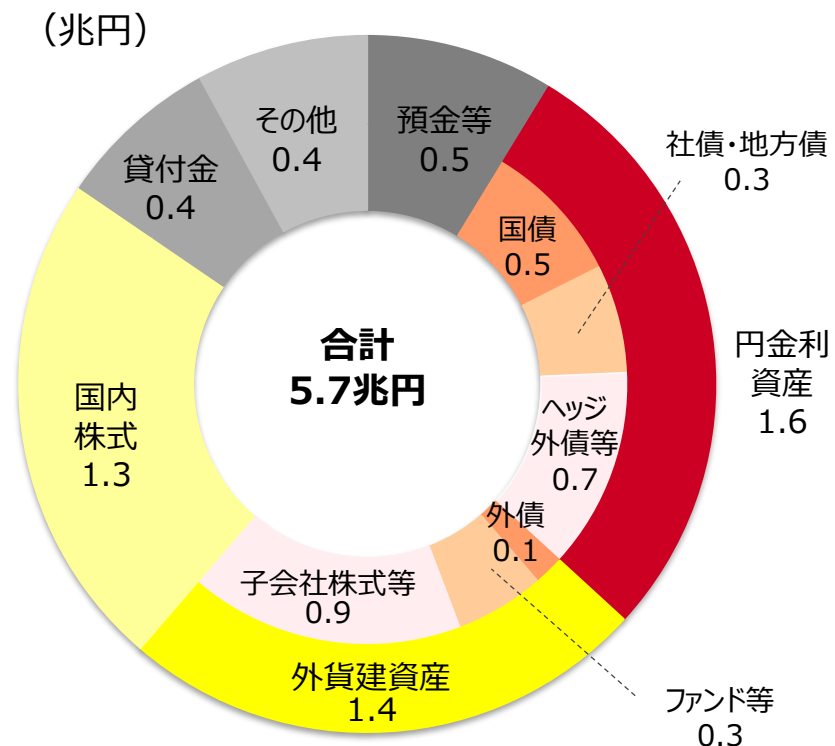
※ “その他”は土地・建物、非連結子会社株式など

資産ポートフォリオ（損保ジャパン）

- 政策株式の削減、分散投資の推進を基本とするポートフォリオ・マネジメントを継続

運用資産額（2021年3月末 損保ジャパン単体ベース）

【一般勘定】



インカム利回り（一般勘定）※1の推移



格付別構成比※2

社内格付	構成比
BBB格以上	100%
BB格以下	-

デュレーション（年）

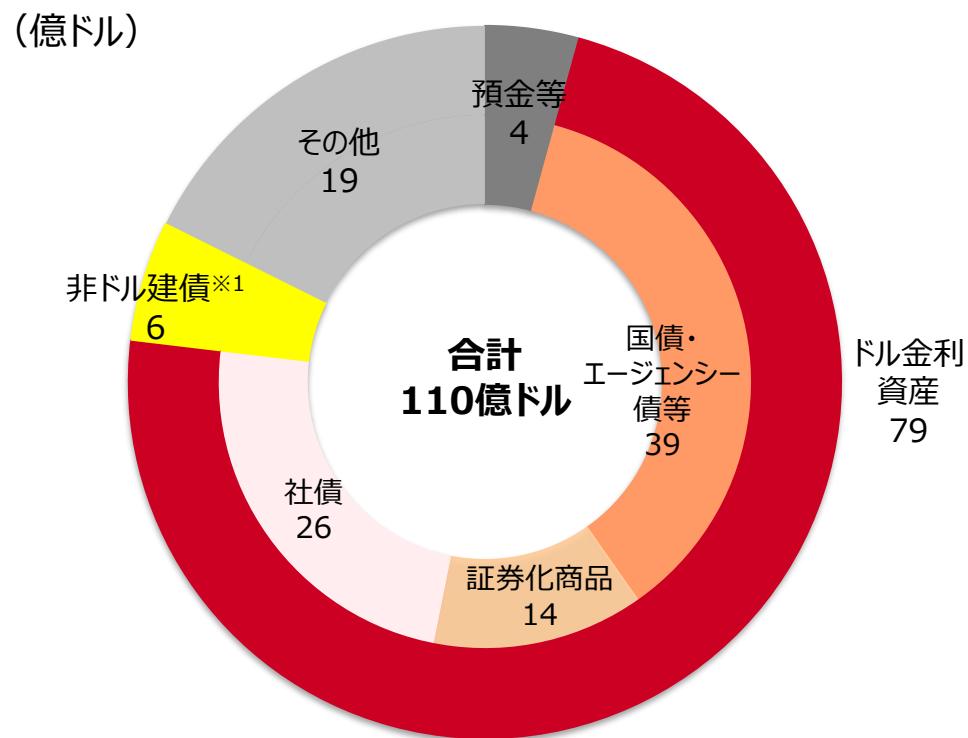
	2020年3月末	2021年3月末
資産	7.9	8.2
負債	8.4	8.3

※1 海外グループ会社株式等を除く

※2 円金利資産、外貨建債券の合計

- ドル金利資産への投資をベースとしつつ、負債特性を踏まえ、流動性・安全性を重視した運用を継続

運用資産額 (2020年12月末 SI連結ベース)



格付別構成比※2

社内格付	構成比
BBB格以上	90%
BB格以下	10%

デュレーション (年)

	2019年 12月末	2020年 12月末
資産	3.0	2.9
負債	3.0	3.4

(参考) 2020年12月末のインカム利回り (一部ファンドの未実現損益等の変動を含む) は2.46%

※1 一部預金含む

※2 債券資産の合計

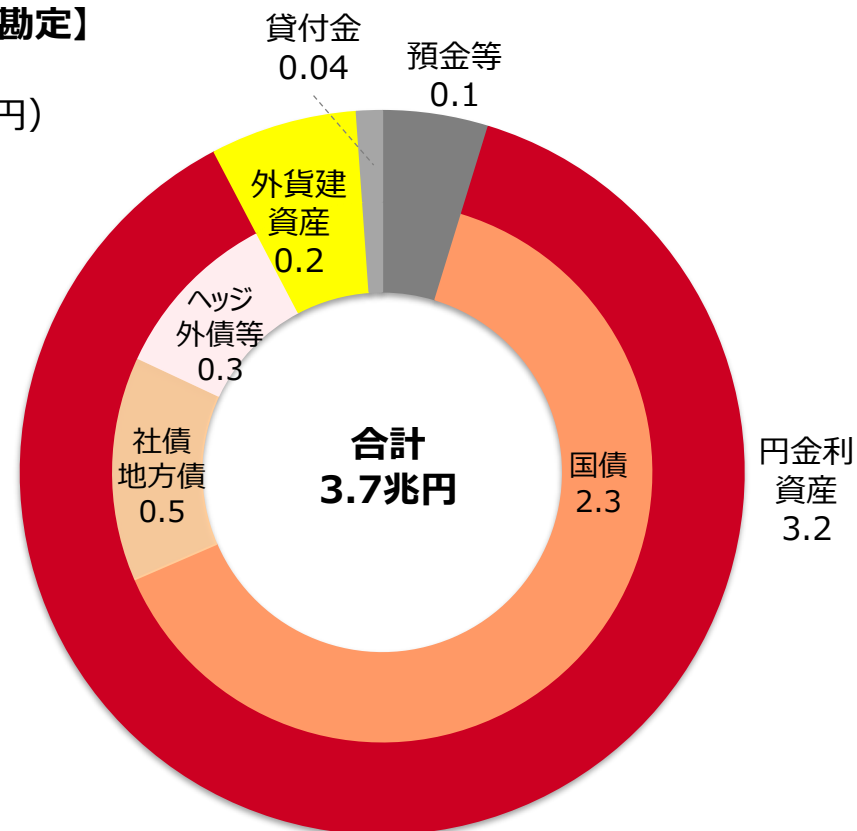
資産ポートフォリオ（ひまわり生命）

- 円金利資産を中心としたALM重視のポートフォリオを構築
- 国内の低金利環境を踏まえ、社債投資等へも配分

運用資産額（2021年3月末 ひまわり生命単体ベース）

【一般勘定】

(兆円)



(参考) 2021年3月末の特別勘定の残高：247億円（主に国内株式・債券で運用）

インカム利回り（一般勘定）の推移



格付別構成比※

社内格付	構成比
BBB格以上	100%
BB格以下	-

デュレーション（年）

	2020年 3月末	2021年 3月末
資産	14	15
負債	28	26

※ 円金利資産、外貨建債券の合計

将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】



SOMPOホールディングス株式会社

I R 室

電話番号 : 03-3349-3913

email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>